

令和4年第4回天城町議会定例会議事日程（第1号）

令和4年12月13日（火曜日）午前10時開議

開会（開議）

- 日程第1 会議録署名議員の指名
 - 日程第2 会期の決定
 - 日程第3 諸報告
 - （1） 諸般の報告
 - （2） 行政報告
 - 日程第4 一般質問
 - 喜入伊佐男 議員
 - 大吉皓一郎 議員
 - 奥 好生 議員
- 散会

1. 出席議員（13名）

議席番号	氏名	議席番号	氏名
1番	平岡寛次君	2番	喜入伊佐男君
3番	吉村元光君	4番	奥好生君
5番	昇健児君	6番	大吉皓一郎君
7番	久田高志君	8番	秋田浩平君
9番	上岡義茂君	11番	武田正光君
12番	前田芳作君	13番	平山栄助君
14番	柏井洋一君		

1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長 柚木洋佐君 議会事務局書記 實村健太君

1. 説明のため出席した者の職氏名

職名	氏名	職名	氏名
町長	森田弘光君	教育長	院田裕一君
教委総務課長	豊島靖広君	会計課長	中村慶太君
社会教育課長	和田智磯君	くらしと税務課長	関田進君
企画財政課長	福健吉郎君	けんこう増進課長	碓本順一君
建設課長	宮山浩君	水道課長	野村秀行君
農業委員会事務局長	芝健次君	農政課長	山田悦和君
農地整備課長	大久明浩君	長寿子育て課長	森田博二君
商工水産観光課長	中秀樹君	選挙管理委員会書記長	米田俊朗君
総務課長補佐	宇都克俊君		

△ 開会（開議）午前10時00分

○議長（柏井 洋一議員）

おはようございます。ただいまから、令和4年第4回天城町議会定例会を開会します。

初めに、定例会において欠席届が12月13日から12月14日までの間、総務課長、袴清次郎君より提出され、これを受理しましたのでご報告いたします。

これから本日の会議を開きます。

直ちに本日の日程に入ります。

△ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（柏井 洋一議員）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、上岡義茂君、武田正光君を指名します。

△ 日程第2 会期の決定

○議長（柏井 洋一議員）

日程第2、会期決定の件を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から12月14日までの2日間に行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者多し）

○議長（柏井 洋一議員）

異議なしと認めます。よって、会期は本日から12月14日までの2日間に決定しました。

△ 日程第3 諸報告

○議長（柏井 洋一議員）

日程第3、諸報告を行います。

初めに、議長より令和4年第5回臨時会以降、本定例会までの諸般の報告を行います。

議長の動静はございませんでしたので、ご報告いたします。

次に、本日議案が町長より9件提出されました。よって、議案はその件名一覧表とともにお手元に配付してあります。条例の一部改正、予算の補正がありますが、慎重にご審議の上、適切なお判断をお願いします。

以上で、議長の報告を終わります。

次に、町長から行政報告の申出がありましたので、これを許可します。

○町長（森田 弘光君）

それでは、行政報告をいたします。

11月25日、第5回天城町臨時会以降の主な報告をいたします。

12月7日、県庁用務を行いました。その中で、塩田知事にお会いしまして、2期目の町政を担うことになったというご報告と、また町政に対するご支援をお願いしたところでございます。

12月8日、樟南第二高等学校生徒作成絵本「ごみかいじゅう」の贈呈式を天城保育所で行いました。

これについて、少し説明を加えさせていただきます。

「ごみかいじゅう」という、こういう本でございます。これにつきましては、あとがきに、樟南第二高等学校の生徒たちが、このように書いてございます。

この絵本の制作の背景には、2021年4月に結んだ、天城町と樟南第二高等学校との包括的連携協定がありました。第1弾は、ごみステーションの設置が行われ、第2弾として、徳之島愛ランド広域連合クリーンセンターさんのご協力の下、徳之島のごみ問題について考える取り組みが開始しました。そこで、私たちが長年住んでいる徳之島の現状を知りました。そして、学んだことを次の世代へ受け継ぐ策はないかと考え、絵本の制作を考案しました。この絵本を通して、徳之島の未来を担う多くの人々のごみ問題に対する意識改革となればと思います。という、あとがきでございます。

この絵本を広域愛ランドのほうで作成いたしまして、徳之島の小学校、それから徳之島の保育所、幼稚園のほうに配付いたしまして、ごみについて考える一つの手だてになればというふうに考えております。

12月10日、天城公民館におきまして、徳之島3町の百歳健康教室がありまして、出席し、挨拶を行いました。

12月11日日曜日、徳之島徳洲会病院移転新築工事の起工式が行われまして、出席し、挨拶を行いました。

12月12日月曜日、天城町の民生委員・児童委員への知事の感謝状伝達式及び民生委員・児童委員への委嘱状の交付式を行いました。

以上、行政報告を終わります。

○議長（柏井 洋一議員）

以上で、諸報告を終わります。

○7番（久田 高志議員）

行政報告の中で、1点だけ確認をさせていただきたいものがございます。

12月7日、県庁用務（鹿児島市）、県知事にお会いに行かれているということでした。これほかに議員が2名ほど同行されていると思うんですが、この2名の方々を選んだ理由、また旅費等どうなっているかお尋ねしたいと思います。

○町長（森田 弘光君）

お答えいたします。

県知事とお会いしたいということであります。また、知事と親しくしている議員でございました。そこで声かけして、県知事のほうにも連絡を取りまして、お会いしたいということでありました。経費については、その方々は自己負担となっております。

○議長（柏井 洋一議員）

よろしいでしょうか。

△ 日程第4 一般質問

○議長（柏井 洋一議員）

日程第4、一般質問を行います。

議席番号2番、喜入伊佐男君の一般質問を許します。喜入議員。

○2番（喜入 伊佐男議員）

町民の皆様、おはようございます。令和4年第4回天城町議会定例会、一般質問の許可が議長より下りましたので、質問に入ります。

1項目め、町政運営について。

1点目、1期目における課題及び今後の抱負について。

以上、よろしく申し上げます。

○議長（柏井 洋一議員）

ただいまの質問に対し、答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田 弘光君）

それでは、喜入伊佐男議員のご質問にお答えいたします。

町政運営について、1期目における課題及び今後の抱負についてということでございます。お答えいたします。

令和2年1月に、我が国で初の新型コロナウイルス感染症が確認され、未知のウイルスとの戦いで、コロナ禍に翻弄された1期目でもありました。

そのような中でも、令和3年度の農業生産額が目標の45億円を超える47億5千500万円の実績を得ることができました。

まずは、第1次産業の活性化、そして所得向上を図るため、継続して45億円を達成できるよう、支援を行ってまいりたいと考えております。

また、併せて、子育て支援や住宅政策、将来の子供たちへの教育の充実にも力を入れて取り組んでまいります。

「住んでよかった。暮らし満足度ナンバーワンのまち」の実現のため、町民みんなが喜びを共有し、痛みや苦しみを共に分かち合い、助け合う人と人を大事にするまちづくりに努めてまいりたいと考えております。

以上、喜入議員のご質問にお答えいたしました。

○2番（喜入 伊佐男議員）

ありがとうございます。

町長のお答えの中に、子育て支援、これが今後4年間の間でどれだけ支援が、子育て支援がまた、保育所等に力を注いでいけるか、これは、私は一番注目している点であります。なぜならば、今、保育所等、全国のテレビ等で見ますと、虐待、いじめ、これが全国的に広がりつつあります。ここのところを特に注目していただき、保育所等にしっかり、監視カメラとまではいかないまでも、保育士に十分、そういう態度がないように教育をしていく、まずこれが必要と思われれます。この点について、町長のお考えを少しお聞きしたいと思えます。

○町長（森田 弘光君）

お答えいたします。

新聞報道等で、内地のほうで、あつてはならない、そういった事案が今起きておるようでございます。当然、天城町では、そのような事案は絶対的に、これまでも起きていませんし、またこれからも起こしてはならない、そのように認識をしております。しっかりと、保育士の子供に対する姿勢、そういったものもしっかりとお互い共有しながら、天城町は、子育て支援しやすい町であるということ、それを実現していければというふうに考えております。

○2番（喜入 伊佐男議員）

まずは、将来の天城町を背負って立つ、零歳児から年長組、また小学生、そこで、私の一般的な考えの中に、世界でIQの高い国はどこかと調べてみましたら、ユダヤ人、IQは200を超えています。だけど、今現在全世界の中で、インドの国の人たちが、物理、数学、そこのところの教育が世界で一番進んでいると。

なぜならば、日本人は、数学で、学校で算数の掛け算は1桁、だけれど、インドでは、幼少の低学年から2桁、20の算数を教えているとお聞きしています。ですから、物理、数学の面、今、コンピューターの時代ですので、そこでインド人の科学者が引き抜かれて外国に行っている。私たち日本人の中の教育もしかりだけれど、インド人はなぜ、そんな掛け算、九九の次の位の上の20の数字の掛け算をしているのか。そのところの教育の関係は、まだ私は調べていないので分かりませんが、それだけインド人の、あと何年後には、世界で一番、中国を抜いてトップになると言われています。

ですから、私たち天城町、大島郡内天城町でも、そういう物理的の教育を、教育関係等で教えていくような計画等、じゃなくて将来的な、何年後、そういう的な教育も必要ではないのではないかと私自身そう思っています。

ですから、幼少の頃、年長組から教えて、数学、物理の、なかなか飛び抜けた人が出るというのは、100年に一人ぐらいしかいないと思われまますので、そのところの教育をしっかりとしていきたいと思えます。

この点については、町長、どう思われるか、教育面、幼少期の教育面について。

○町長（森田 弘光君）

今、喜入議員のお話のとおりでございます。やはり、その幼少期、一番、出発のとき、どのような教育を受けていくかということが、また将来を左右していく、そのような大事な時期だというふうに私は考えております。

そして保育所、そしてまた学校に上がる、そういう中で、しっかりと保育所、そしてまた学校の先生方と連携を取りながら、そこで途切れることなく、その子供たちに対する細やかな対応をしていくことが大事かと思っております。

もう一点は、その天城学というものを教育委員会と一緒に始めていただいております。やはり自分たちの生まれ育ったこの地域を誇れる、そのためには、しっかりと自分の生まれ育った自然と伝統、文化、そういったものを、幼少期といいますか、小学校時代等を通して、しっかりと子供たちに教えていくことが、やはり大きくなったときに私は大事なことかと思っております。

天城学ということ、言葉に代用されますように、地域と連携を取りながら、その子供たちをしっかりと育てていくような、そういう環境づくりを、私は進めたいと思えます。もし、また教育長の方から、専門的な知見からお話ができればお願いいたします。

○教育長（院田 裕一君）

喜入議員のご質問、ありがとうございます。

私は日頃から、やはりこの何のために学ぶのかというところを、子供たちがしつ

かりと考えながらやっていくというようなことで考えております。

また、今、数学とか物理とか、世の中のいろんな、そういう、例えばですけども、小さなときに靴をきちっと並べているという、つまり数学的にいえば線対称とか、真ん中で折る、そういうふうに私たちの生活の中には、そういう物理とか数学というのがたくさんあるんだというようなことを、そしてまた、例えば、仕事の段取りとかそういうことも数学的な思考とか、そういうところがすごく大切なことだと思いますので、とにかく生活と結びついて何かをやっていくとか、そういうことをすることによって、今、町長からもありましたけども、天城学の延長線上に、先ほど樟南第二高等学校の生徒の皆様が、自分たちのふるさとのことをどうにかしていきたいというようなところを、また問題発信をしていただいたということは、一つの大きなそういう成果の現れなのではないかなと考えております。

以上でございます。

○2番（喜入 伊佐男議員）

分かりました。ぜひ、そういう方面の教育指導もしていただいて、よりよい天城町、未来の子供たちを大いに頑張らせていただきたいと思います。

これは、ちなみな言葉ですけど、アインシュタインという天才物理学者がいます。彼が写真で舌をべろっと出している写真があります。このアインシュタインもユダヤ人です。そのべろっと出している滑稽な姿を見た人は、このような人物がべろっと滑稽な、子供に、童心にかえったような姿を見せる、だから私の感覚では、天才と子供は同率の心を持っている、だから天才は子供のような滑稽なところがなければ、自分の頭の知能を休めるところがないのではないのかなと私自身そう思っていますので、勉強を一途にやるよりも、少し脳を休める、そういうところが一番、天才、ノーベルを将来的に取っていく人の頭の知能の考え方ではないのかなと思います。勉強しすぎると頭がパニック状態になって、人と会うのが嫌になるとか、そういう面も出てくるので、少し子供にかえって、我を、童心の遊びに戻るというのも大事ではないのかなと、私自身、そう思っています。

町長も1期4年目を、もう今月で終わります。よく世間で言われますのは、4年間の前の2年は前町長の計画等で仕事をやっていく。残りの2年は現職の町長が仕事を計画にのっとなって、天城町の図面を描いていく。私は、森田町長はよく頑張ってくれたと思います。なぜならば、このコロナ禍の中でなかなか人と接触するのも難しい2年間でありました。これから4年はどういう世の中になっていくのかちょっと分かりませんが、今現在、自然と伝統文化体験館の工事着工に入りました。これを、このドーム型の建物が完成します。そしたら、自然遺産登録も成りましたので、ここで一つそのような形が浅間地区にできます。2年後、令和7年、

2年後です。これに向けてのご尽力を随分なされた。そして、その11億円という金額、これを国のほうに設計図案を示して予算を持ってきた。これは、課長とそれに関わった職員、これは、私はそれだけの金額を天城町に持ってきて、形として見られつつある、これはすごく、並大抵の精力ではできないのではないのかなと思っております。これも完成が2年後ですので、これに向けて一生懸命頑張っていたいただきたいと思えます。

町長に、最後のお願い、質問のお願いになりたいんですけど、世界自然遺産に登録されました。私、かねがね思っていることは、名瀬まで国道が来て、南三島を飛び越えて沖縄に国道がある。なぜこの南三島だけ国道がなされないのか。ここを青年のときから、所帯を持って青年のときからもう思っていることですので、なぜ国道昇格に停滞しているのか、ここのところを、町長も県知事のほうにお伺いしたときに、建設課、3ヵ町の建設課も昇格に向けて一生懸命努力はしていると思えますけど、そういう面で、どこが国道昇格にストップ、なされないのか、そこのところの意味合いも分かりかねると思えますので、今度、県知事のほうに登庁したときに、そういうことも、国道に上げる、またそういうことに対して町長のほうでご尽力を、努力をされてはいかかと思えますので、これで私の最後の質問といたします。町長のお答えをお聞きします。

○町長（森田 弘光君）

まずは国道関係について、私の考え方を答えさせていただきます。

やはり、その、奄美大島南部まで来て、そこを徳之島、そして南三島を越えて沖縄のほうに行っているのが、今、国道であります。やはりしっかりとその海上交通を含めて一つの大きな国の背骨を成すのが国道だというふうに思っておりますので、これまで国道昇格についても議論をしてきたところですけども、一時その中断をしているところでもあります。

またもう一つ、私が思っているのは、やはりそうやって国がその特別な何かをしてくれということは次の問題として、やはりしっかりと背骨として国道が通っている、そしてこういう離島でも島民の民生というか、安心・安全をしっかりと国が見てくれているんだということの中で、私たちは生活をしていく中で安心・安全が守られているかというふうに私は認識しております。これについては、また大島郡南三島の大きな課題でございますので、ここについてはまたしっかりと問題を提起しながら、対応していければなと思っております。

また、自然と伝統文化体験館につきましては、これまでもこの本会議場の中で議論されてきたところでもあります。奄美群島振興開発事業という予算を獲得して、これを進めておりますので、動もすると、そのドーム型闘牛場というところが強調さ

れたのではないかなと思っておりますが、やはり自然と伝統文化を体験できる館であるということをしつかりとまたこれからも訴えながら、この事業についてはまたしつかりと、またこれは、天からというか、国から下りてくる、素直に下りてくる事業ではございません。やっぱりしつかりと要請をしながら獲得していかないとなりませんので、私は鹿児島県、そして国のほうにもこのことについてはしつかりと要請活動を行いながら、体験館の完成には尽力していきたいと、そのように考えております。

○2番（喜入 伊佐男議員）

分かりました。一生懸命4年間、これから4年間、汗を流していただきたい、よりよい町民のために、また天城町、よりよく、ほかの徳之島町、伊仙町よりも空港、港が隣接していますので、よりよい天城町なることを願って、私の今議会の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（柏井 洋一議員）

以上で、喜入伊佐男君の一般質問を終わります。

次に、議席番号6番、大吉皓一郎君の一般質問を許します。大吉議員。

○6番（大吉 皓一郎議員）

きゅーがめーら。

住んでみたい町、温暖で快適な自然に恵まれ、緑豊かで幸せを実感できる町、結いの心でお互いが助け合う町、私の願うわきゃが島天城です。皆さんの声を聞く議員、行動する議員、展望を持った議員として、満身創痍頑張っていきます。とおーむーうるしきばていんにゃー。

それでは、通告しました一般質問を行います。

1項目め、創生天城について。

1点目、「天城町から3つのお願い」再度県知事へ早めの陳情を行うべきではないか。

2点目、岡前集落生活館の外のトイレを洋式水洗化し本館の浄化槽につなぐための補助はできないか。

3点目、平土野地域の具体的な活性化対策について。

2項目め、みんなが健康な町について。

1点目、島外治療旅費・その他の助成拡大はできないか。

3項目め、建設行政について。

1点目、県道80号線・県道83号線の改良完成までの期間と予算について。

2点目、天城尻田線の進捗状況について。

3点目、大津川千間線の改築状況について。

4 点目、兼久前中組線・美笠 6 号線も狭隘で防災上からも改良はできないか。

5 点目、瀬滝愛心園入口の瀬滝三京一号線整備はできないか。

4 項目め、教育行政について。

1 点目、不登校及び長期欠席児童生徒に対し学校、教育委員会はどのような対応をしているか。

2 点目、各施設は安全で快適に使用できているか。

以上、質問します。どうすればできるかの視点で答弁をお願いいたします。

○議長（柏井 洋一議員）

ただいまの質問に対し、答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田 弘光君）

それでは、大吉議員のご質問にお答えいたします。

1 項目め、創生天城について、その 1、「天城町から 3 つのお願い」、再度県知事への早めの陳情を行うべきではないかということでございます。

お答えいたします。

「天城町から 3 つのお願い」、これにつきましては、県知事宛てに行っている大きな課題についてお願いをしたわけでございますが、昨年 5 月 11 日、議員の皆様と共に塩田県知事を表敬訪問した際に、要望したところでございます。

内容としましては、町内 2 ヶ所の県道整備、徳之島空港の排水路整備、平土野港の多機能港湾の新設に関するお願いでございました。

これにつきましては、事業も進んでいるところもありますが、年明け早々にも、議員の皆様方と一緒に、再度、県知事への陳情要望活動ができないかということで、今、鹿児島県と調整をしているところでございます。また、日程等が決まりましたら、議員の皆様方にはお願いをしたいと思っております。

創生天城について、その 2、岡前集落生活館の外のトイレを洋式水洗化し本館の浄化槽につなぐための補助はできないかということでございます。

お答えいたします。

これについては、私たち、今、広場がグラウンドゴルフ、それからゲートボール等、またいろんな形で利用されております。そのために対応できないかということで検討してまいりました。

浄化槽、いわゆる浄化槽は、その設置時に使用目的や使用人数を用いて、その槽の規模を決め、その人数を算定して、その槽の規模を決定しているということでもあります。そのため、既存の浄化槽に新たなトイレからの配管を接続することは、鹿児島県環境保全協会に確認したところ、難しいということの回答がございました。そのために、今、利活用されているその外の広場、そしてまた外のトイレをどのよ

うな形で、改修というか、整備できるかということにつきましては、改めて、また、いわゆる利活用されておりますので、利便性の向上とか、その改善策については検討させていただきたいとそのように考えております。

創生天城について、その3、平土野地域の具体的な活性化対策についてということでございます。

お答えいたします。

平土野地域活性化につきましては、本年度、令和4年度、役場からポケット公園までのカラー舗装、また平土野商店街買い物客専用の駐車場の整備を行いました。また、業を起こす起業家支援については、本年度、美容室が1件開業いたしました。

また、先ほどお話ししましたが、樟南第二高等学校の活動の一環としまして、平土野商店街の活性化について課題研究を行っておりますが、10月には中間発表がありました。12月20日に最終の結果発表がございます。高校生目線での平土野地域の活性化策に対して、またどのような報告がなされるか、期待を寄せているところでございます。

さらに、平土野地区の拠点施設につきまして、民間の事業者ではございますが、活用施設が決定し、年度内に整備するということの報告を受けております。

今後も引き続き、平土野地域の活性化に向け、空き屋店舗の利活用や景観整備にも取り組んでまいりたいと考えております。

2項目め、みんなが健康な町について、その1、島外治療旅費・その他の助成拡大はできないかということでございます。

お答えいたします。

島外治療旅費助成事業は、島内の医療機関において疾病等の治療が困難であると医師が認めた方への経済的負担の軽減を図ることを目的として、その旅費の一部助成を行うものでございます。

事業開始から2年8ヶ月が経過いたしました。令和2年度が助成件数47件、助成金82万2千285円、令和3年度が113件、175万7千560円、令和4年度が、12月2日時点で87件、142万695円の助成となっております。

今後も増加することが予想されます。助成拡大として、現在利用者から申請時に医療機関からの入院・通院証明書を提出していただいておりますが、この費用が個人負担となっているため、今後は証明書に要する費用につきましても経済的負担の軽減を図る、そういう観点から制度の改善・拡充について検討し、町民の皆様へ寄り添った事業を実施してまいりたいと考えております。

3項目め、建設行政について、1、県道80号線・県道83号線の改良完成までの期間と予算についてということでございます。

この県道80号線と県道83号線については、先ほど県知事にも3つのお願いということで要望した箇所でございますが、鹿児島県によりますと、県道83号伊仙天城線の真瀬名工区については、令和2年度から事業着手し、本年度から用地買収に着手したところでございます。また、兼久郵便局付近でボトルネックとなっていた約50mの区間につきましては、工事発注済みでございます。が、埋蔵文化財調査がありますので、その調査が終わり次第、本格的な工事に着手するということでございます。また、事業期間や予算については、用地取得の状況、また社会状況の変動などもあることから、お示しすることは困難ですということでございました。

県道80号伊仙亀津徳之島空港線の天城集落内における約300mの未改良区間については、人家、人の家が連なっている人家連担部であり、また多額の事業費を要することが見込まれますが、まずは、現在着手している真瀬名工区の着実な整備に努め、また行っていきたいということで、今、回答を得ております。町としましても、協力できることは全力で協力していきたい。また、83号線の早期完成及び80号線の早期着手についても、県知事をはじめ、引き続き粘り強く要望していきたいと考えております。これにつきましては、先ほど、年明け早々にもできないかということで、今、調整を図っております。

建設行政について、2、天城尻田線の進捗状況についてということでございます。

これにつきましては、なかなか、その、具体化にたどり着けない状況にあります。天城尻田線については、筆界未定の土地がまだまだ多数あり、なかなか進んでおりません。地域の皆様、地権者の皆様と協議しながら、まずはその筆界未定の解消等に向けて話し合いを行っていききたい、そのように考えております。

建設行政について、3、大津川千間線の改築状況についてということでございます。

お答えいたします。

大津川千間線につきましては、千間海岸へ下りる道路でございます。

この道路は、傾斜が急で狭い幅員のため車両の離合が難しく、また路面の状況も悪い状況でございます。その解消に向け、今年度から、令和4年度ですけれども、今年度から農業基盤整備促進事業南部地区1号農道として、既に事業を実施しております。

今年度は、道路幅員を確保するためののり面保護工事と、その区間の舗装を実施することといたしております。令和5年度には事業完了予定でございます。

建設行政について、兼久前中組線・美笠6号線も狭隘で防災上からも改修はできないかということでございます。

お答えいたします。

兼久前中組線・美笠6号線につきましては、ご指摘のとおり、非常に道幅が狭い状況でございます。路線の両側に家屋が密集しており、拡幅するには、まず、地権者のご協力、同意が必要となります。美笠6号線については、現在、今年度の予算で測量設計を実施しております。路線の一部拡幅を進めていきたいと考えております。

建設行政について、その5、瀬滝愛心園入口の瀬滝三京一号線整備はできないかということでございます。

お答えいたします。

瀬滝三京一号線については、現在委託発注をしておりますが、路面性状調査にて調査を実施し、早期に舗装修繕できるよう検討してまいりたいと考えております。

4項目めの教育行政については、教育長のほうからお答えいたします。

以上、大吉皓一郎議員のご質問にお答えいたしました。

○議長（柏井 洋一議員）

次に、教育行政について答弁を求めます。

○教育長（院田 裕一君）

それでは、大吉議員のご質問にお答えいたします。

4項目めの教育行政についてです。その1点目、不登校及び長期欠席児童生徒に対し学校、教育委員会はどのような対応をしているかというご質問でございます。

お答えいたします。

11月末時点での月5日以上、累計30日以上長期欠席と県に報告している子供たちの状況といたしましては、小学生6人、中学生11人です。いまだ欠席状況が改善されていない子供たちが5人います。この子供たちへの対応といたしまして、学校は、定期的な連絡、家庭訪問等、確実な連携や進路相談、学習支援などを行っています。

また、教育委員会といたしましては、学校からの情報を確実に聞き取りながら、関係機関との連携や各種情報の提供など、常に学校と連携し合って、解消に向けて取り組んでいます。

今後も、なかなか学校に行けない子供たちや、その保護者の思いなどを大切にしながら、引き続きこの問題に取り組んでまいりたいと思っております。

次に、教育行政の2点目でございます。各施設は安全で快適に使用できているかということでございます。

お答えいたします。

学校施設の安全対策といたしましては、各学校で実施している安全点検を基に、修繕箇所等の要望を精査し、順次対応しているところでございます。

社会教育関連施設につきましては、学校開放事業における、岡前小学校と天城小学校のグラウンド夜間照明設置工事及び総合運動公園、テニス場夜間照明設備の設置に取りかかっているところでございます。

今後とも、安全かつ快適に利用していただけるよう、町民の皆様からの要望や日々の確実な安全点検等を行いながら、利用しやすい施設を心がけているところでございます。

以上でございます。

○6番（大吉 皓一郎議員）

これ、ちょっと内容を説明してくれる。これ、どこの課ですか。町長の、町民は分からないので、今、町長が言っただけでは、具体的に。

○企画財政課長（福 健吉郎君）

1点目の創生天城についての、天城町からの3つのお願いについてでございます。

これにつきましては、先ほど町長の答弁にもございましたが、昨年、令和3年の5月11日に、塩田知事を表敬訪問した際に出させていただきました。

表紙がこのようになっております。その3つのお願いということですが、まず、県道が2路線、県道83号線が、平土野から伊仙に向かう兼久中学校、真瀬名から兼久中学校に至る道でございます。ごめんなさい、天城中学校ですね、天城中学校に至る道でございます。

ここについては、真瀬名橋があるんですけれども、大型自動車、大型トラック、こういったものの走行でしたり、またカーブが多いということで、ちょっと改善を求めたものでございます。これについては、県のほうでもう既に事業計画が立てられているところでございます。

また、県道80号線、これにつきましては、平土野の交差点、徳之島空港から轟木に向かう道でございます。平土野集落から天城の上まで、まだ未改良区がございますので、その未改良区について、県のほうに、どうか早急に整備を行っていただきたいという要望でございます。それが1点目でございます。

2点目が、徳之島空港、これにつきましては、平成24年の台風により、ロビーが冠水したという事案が発生しております。それに伴いまして、また駐車場等もかなり水浸しになったということでございましたので、空港周辺の排水路について改善を求めた要望でございます。これについては、県のほうも一部対処していただいているかと思っております。

それと3点目が、平土野港の多機能港湾化の新設についての要望でございます。

平土野港につきましては、今、着岸する岩壁が一つございまして、今、利用しているわけですが、大型クルーズ船が着岸する際に、一度、そのような、着岸して、

また緊急的な船が入るということで、何というんですか、一回、大型クルーズ船がまた沖合に出て、通常のフェリーが着岸したということ等の事案がございました。

また現在、平土野港については、地域経済、また産業を支える重要港湾であるということと、また今後、世界自然遺産によって観光需要が増加すると、そういったことも期待して、もうちょっといろんな、その強靱な防災機能を備えつつ、多様な観光需要にも対応した近代的な多機能港湾として新設要望を行ったものでございます。

以上、それが3点でした。

○6番（大吉 皓一郎議員）

非常に詳しい説明で、町民もよく分かったと思いますが、こういったことを、町、行政側と我々議員も一緒になって、昨年度5月11日に県庁、塩田知事のほうに陳情しています。

そういったことで、なかなか県のほうも仕事多いし、見落とす場合もあるものですから、何度も何度も、町長は行く度に話はしていると思いますけど、今度、また来年度あると思うんですけど、陳情する考えはないですか。

○町長（森田 弘光君）

お答えいたします。

この件に、天城町の抱えている、いわゆる県事業につきましては、県知事はもちろんですけども、鹿児島県の土木部長さん、それからまた大島支庁長さん等にも繰り返し、また要望しているところでございます。

また、やっぱり県知事にお会いするということは大事でございますので、年明け早々に、今、県知事との時間の調整を具体的に進めているところでございまして、また、私とすれば、執行部の私だけでなく、でき得れば、議会議員の皆さん方14名全員がそろって行くということが、相手に対する、こちらの強い姿勢、気持ち、また迫力といいますか、そういったものもあると思いますので、今、企画財政課長のほうで、鹿児島県と1月の早い時期にその時間を調整できないかということで、今、お願いをしているところであります。

そこについて、またこの3つのものにするかどうかということ、また新たに何かいろんな案件を入れる、入れないということについては、またちょっとこれから考えながら、また議会のほうにも相談しながら、もう伊仙に行く道はできたからいいんじゃないかとかというお話があれば、また別の要素を入れながら、また県知事にはお願いしていければなと思っております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

来年度すぐまた県知事とお会いできるような段取りを取るということで、非常に

心強く思っております。そうすることによって、この事業がスムーズにいくし、またほかの大島支庁長やらとも会つとるということですので、ぜひ、最後は県知事ですので、そういうことを積極的にしておるということですので、ぜひ、いま一度、これを議員も一緒に行動すれば、少し全体的なものだなという、県も考えてくれると思いますので、ぜひ、これを推進するように要望しておきます。

続きまして、岡前生活館のトイレの件は、話を聞いたんですけど、これは区長から書いたもの、区長から出てきておるのをちょっと借りて話し合いをしたんですけど、法的にいったら、こういうのはつなげないんですけど、ほかに外のトイレの浄化槽をつけるとか、いろんな補助の仕方があると思うんですよね。30万円のあの集落提案型、あとちょっと20万円ぐらいつければできるし、ここは、徳之島町は、皆さんご存じですか。各、あちこちの県道沿いに大きなトイレ、男女別描いて、ちょっと引っ込んだところに、道のところにトイレありと、観光客にもすごく好評です。ここも道路に近いし、非常に使えるし、あとゲートボール大会も年何回かやっております。今、年寄りが使いますので、非常に、何といいましょうか、もう洋式のトイレじゃないと非常に使い勝手が悪いという状況ですので、いま一度、具体的に検討できないでしょうか。これに関する各課、ちょっとお願いします。

○くらしと税務課長（関田 進君）

ただいまの大吉議員にお答えをいたします。

この浄化槽につきましては、くらしと税務課が所管をしております、今回の質問をいただいたところであります。

その中で、くらしと税務課における補助については、先ほど町長のほうから、県の環境保全会の見解を基に、お話があったところであります。

その中で、くらしと税務課としては、課内で協議しましたところ、簡易洋式水洗トイレという方法もあるのかなと思っております。それにつきましては、集落提案型の補助になっていくことになると思っております。

今、お話ししましたように、くらしと税務課におきましては、合併浄化槽の設置については難しいというお答えをしましたが、簡易洋式の簡易水洗トイレは可能ではないかなと思っております。

以上です。

○議長（柏井 洋一議員）

しばらく休憩します。11時15分より再開します。

休憩 午前11時01分

再開 午前11時15分

○議長（柏井 洋一議員）

休憩前に引き続き会議を開きます。福企画財政課長。

○企画財政課長（福 健吉郎君）

先ほどの岡前集落のトイレについて、私のほうから回答させていただきます。

先ほどくらしと税務課長のほうから、簡易水洗トイレはいかがでしょうかという提案がございました。

今、我々、企画財政課のほうでも集落提案型事業を展開しております。集落提案型は、上限が30万ということでございますので、簡易水洗トイレであれば、十分、見積り、見ていただきますが、十分できるのではないかなというふうに考えております。

また、今、奄振事業で防災関連施設設備事業を、今、展開しております。本年度が西阿木名と前野の公民館を整備しております。

また、来年度は、与名間と松原上区、あと瀬滝の公民館を整備する予定となっております。

この5年度事業につきましては、国のほうの令和4年度の補正予算で採択される見込みとなっているところであります。

岡前生活館につきましては、今のところ、令和7年度の事業を予定、計画しているところでございます。

当面の間、先ほど申し上げました、簡易水洗トイレを設置して、その7年度の岡前集落の奄振事業、防災関連施設整備事業の中に、そのようなことも盛り込んでいけるかどうか、まだ確定ではございませんが、そのようなことを検討していてもいいのではないかなというふうに考えております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

知恵を出せば、こういうことができるわけですよ。頭からこういうのはできないとか考えないで、何とか知恵を出してやっつけばできるというものなんですから、ぜひこういったものをどんどん取り入れて集落をよくしていく、また、観光客もあそこは通りが近いですので、利用すると思いますので、ぜひ努力をしてもらいたいと思います。要請をしておきます。

次に、恐縮ですが、平土野地域の具体的な活性化についてということでありまして、いろいろ活性化事業、いろいろ町のほうとしても考えておるんですけど、やっぱりお金を使って、前もこういう図を描かせたり、これは、しま・ひと・たから平土野港再生計画というふうなものを、これも300万です。こういったのも見ながら、前のも見ながら考えていくと、非常にアイデアがいっぱいあります。

そういったことで、ぜひ、今、飲食店だけでやってますけど、もっとほかのこと

も考えながら、さっき美容室も出ておりましたが、ほかのもの、例えば、今、バスタオルを買おう、高齢者が増えて、施設のほうにバスタオルを持っていくとかいっても、五、六枚、タオル5枚とか靴下5枚、なかなか買う場所がないです。だから、そういったところにもちょっと補助すれば、非常に店もできてくるんじゃないかと思えます。

先ほど、何かある意見が出ているような話も聞きましたが、やっぱりここにも、ゆうべ読んでみましたが、非常にいい意見が出ていましたので、そういったことで、ほかに考えることと、このウッドデッキを、もう何回県に言っても駄目ですので、あれを何とかいい方法はないか、課長、お願いします。

○企画財政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

平土野の活性化については、いろいろ計画も立てながら進めているところでございます。

先ほどのウッドデッキについてでございます。それにつきましては、県のほうに要望しているところですが、県のほうからどのような形になるのか示してくれというところで、ちょっとこちらのほうがまだ作成できずにいるところでございます。

そういう中で、県の施設を使うのではなくて、わっきゃが広場の駐車場、あの辺にウッドデッキを作ったらどうかという大吉議員からの提案もございました。とりあえず、そういった自分の、町有地の敷地内に、こう移動できるようなウッドデッキ、例えば、3mの6mとか、そのぐらいのデッキであれば、作製可能かと思っておりますので、ぜひそういった、まずは、自分たちで、町自ら動いてみて、そういったものを設置したりして、有効性があれば、また、県のほうにもさらにその大規模な、またお願いだったり、設置許可がもらえるよう努めていきたいと考えております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

先ほど話したとおり、美容室のほうにもいろいろ助成をしたと、1件ありましたね。今、飲食店に限らず、こう幅を広げていけるような方法を取っておるんですか。取るようにしてもらえませんかでしょうか。

○企画財政課長（福 健吉郎君）

平土野地区に限ってなんですけど、今、平土野地区起業家支援事業というのがございます。これで、先ほど町長の答弁にありました、美容室が1件開業、4年度は開業したところであります。

今まで、21年度から始めておりますが、16件の方が平土野地区で起業なさっております。これとまた違う事業なんですけれども、今、UIターンの起業家支援、

これは平土野地区に限らず、町内どこでも結構です。その事業も、令和4年度は今3件、岡前、与名間、あと兼久集落に3件の方がUIターンによる起業を行っているところでございます。

また、飲食店に限ってのまた事業もございまして、その飲食店については、なかなかこう手を挙げる申請がないというところであります。

今現状、このような形で走っておりますが、なかなかその商店街がこう商店としての活性化がちょっとまだ見られていないような気がいたします。そういう中で、まだ事業化はなされてはいないんですが、既存の事業者支援、こういったものもちょっと考えていく時期に来ているのではないかなというふうに考えております。

今、既存の事業なさっている方がちょっと大幅なリフォームをしたいとか、ちょっと店のイメージを変えたいとか、そういったことに対して、今後、何らかの支援を考えていけないかというのも課の中では考えているところでございます。

以上です。

○6番（大吉 皓一郎議員）

非常に、そういうふうに柔らかく少し幅を広げた物の考え方でいけば、非常にこう、気軽にといえ、ちょっと失礼ですけど、ちょっと私もやってみようかなという人も増えてくると思いますので、ぜひ大きい店舗を誘致するとか、そういったのがなかなか非常に難しい現状ですので、そういった小さいことからやっていけば、また人も集まってくるし、店もいっぱい出て、いろんな店が出てくれば、そういうのも出てくると思いますので、ぜひ努力、精進をしてもらいたいと思います。そういうことをウッドデッキのことやら、そういう店の助成、このことも要請をしておきたいと思います。

次に行きます。

島外治療費のその他の助成拡大はできないかということではありますが、以前、前回、質問しまして、ここに回答として、健康と福祉の増進を図る観点から、制度の改善拡大について見直す、緊急の場合、何らかの新しいことをつくるか、今の要綱に盛り込めないか検討する、証明代は島外に行くときは改善をする。介添え人については、医師の紹介状を書くときに判断し、支給していくというふうに書いてありますが、この件について、実施、いつからやるかどうか、お願いします。

○長寿子育て課長（森田 博二君）

お答えいたします。

1件目の特定健診の結果を踏まえて、緊急の場合ということについては、また、けんこう増進課長のほうからお答えいたします。

もう一点の証明書代、証明書代につきましては、前回、9月議会でもお答えして

おります。個人負担となっておりますので、何とか負担を軽減させようということ
で、今現在、何とかできないかということで、当初予算のほうでも要求のほうは行
っているところであります。また、制度のほうの要綱改正等も進めてまいりたいと
考えております。

あと3点目の介添え人の医師の確認であります。これにつきましては、当初か
ら介添え人が必要であるかないかにつきましては、医師の証明書の中に書く欄があ
りますので、そこで実施しているところであります。

○けんこう増進課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

今年度も特定健診のほう実施させていただきました。その中で、約350項目ほ
どの再検査を要するという検査結果が出ております。その中で、早急に検査を受け
てくださいというのが約10件ほどございました。この皆さん全員、島内のほうで
再検査を受けて、医療機関の診察を受けているところです。

以上です。

○6番（大吉 皓一郎議員）

急に、健診、経済連のほうから、検査を受けると保健センターから急にばあっと
して再検査を受けてくださいと、こう来ますね。そうすると、物すごく慌てるわけ
です。物すごく悪いんじゃないかと、何名かです。これも前も数も取りました
けど、そして、徳之島でのその専門医が来るのを待っておって、検査を受けて、そ
の初診、その証明書を持っていくんですけど、非常にその間が長い、それで来るの
を待っておって、行くのが長いので、皆さんの捉えている数字と全く違う、すぐ鹿
児島に行ったりして、命のことですから、今まで一生懸命農業に励んで、60代以
降ほとんどいろんな病気にかかっている、もう命のことであるので、もう1ヶ月、
この徳之島の病院に専門医が来るから待ちましようやとかいう余裕はないわけす
よね、命のことだから。だから、そこ辺り少し配慮もしながら、特別にもらおうとい
うのがありますでしょう、課長、何名か、毎年、緊急に、今年は何件でした。

○けんこう増進課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

まず、特定健診で行っている検査、この検査につきましては、ほぼ全て島内で検
査できる項目になります。当然再検査、届いたときに、気持ちが動揺するのもよく
理解できるんですが、仮に重病だとしても、まずは地域のかかりつけ医、そこで診
断してもらって、その後の治療方針を進めるというほうが、長い目で見ますと、本
人様の負担につきましても軽く済みます。

いきなり、例えば、県本土の大きい病院、いきなり飛び込みで入りますと、初診

料も5千円以上かかります。理由が、紹介状がないというところです。仮に、そこで治療すれば、その後のその治療についても、島内との医療機関との連携がなかなかこう取れない部分も生じる可能性がございます。けんこう増進課といたしましては、やはり地元のかかりつけ医をまず入り口にさせていただいて、その後に、島外の大きな医療機関の専門の医師であったり、専門の治療器具で治療につなげるというほうが負担が小さいと考えております。

当然、ケース・バイ・ケースで、いろんなご相談があれば随時対応はさせていただきますけれども、まず基本的には、地域のかかりつけ医を入りにさせていただいて、治療につなげるというところをご案内したいというふうに考えております。

以上です。

○6番（大吉 皓一郎議員）

そのことは何度も何度も聞いて承知しています。しかし、命のことだから、一般の人はそうはいかないわけです。緊急にばあっと来られたら、持ってきたら、ああ、どうなんだろうと思って。皆さんの押さえている数と、私どもが知っている人たちは全然違うと思うんですよね。おたくの言うのが正論です。しかし、もうそういうのを待っておられないという人たちが多過ぎる。それで、鹿児島に行っておる。しかも、子供の家とかあればいいんですけど、みんな自費でやっておる。それも命のことだから、そういうお金のことなど構ってられない。だから、少しそういう緊急な場合に対しては、少し便宜を図ってもらえないかという願いをずっと私はしているわけです。

前回、話したかも分かりませんが、天城で母親が認知になって、その娘が帰ってきて、看護師さんだったんです。ずっと介護をして、お母さんはすごくよくなりました。しかし、本人が体調を悪くして、鹿児島に入院することになりまして、我々の世代ですけど、亡くなってしまいました。その2週間後か1週間前後のうち、その兄のほうで鹿児島の病院に行っておって、ジャガイモなど作りながらやっぱり生活をしておったんですけど、急遽悪くなりまして、鹿児島に行ったら亡くなって帰ってきました。そういう事例もあるわけなんですよ。

緊急に行かないとならないし、しかし仕事もしないといけないし、ここの病院で待たないといけないし、だから緊急に保健センターから来ると慌てるし、何名か、何名かでしょう、そういった対象の人は。そういうことを言っとるわけです。ケース・バイ・ケースでちょっとやってもらえませんか、緊急の場合、どこが悪いと向こうが言ってきておりますから、そういったことで、非常に、その兄弟が亡くなって非常にショックを受けておるところでございます。

お互い、この中にもおると思いますが、そういうものをもらったり、仕事とか

忙しかったりとか、なかなか日にちを待って、徳之島の病院に行ったりもしております。だから、そこ辺りを少し緩やかに、緊急の、保健センターが緊急だと言ったりの場合は、何とかそういう手だてができないかという私の思いでもあるし、また、町民に対する、今まで頑張ってきた町民に対する役場としての対応はすべきじゃないかと私は思うんですけど、いかがでしょうか。もう一度。

○けんこう増進課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

先ほども申し上げましたけども、まず、届いて、びっくりしたり不安になったりというときには、ぜひ保健センターなり、できれば、かかりつけ医だったりに相談してから動き始めていただければと思います。

けんこう増進課なり保健センターなりに相談いただければ、臨機応変に対応させていただきたいと思いますので、とにかくそのやみくもに受診じゃなくて、しっかりどこかに相談して、受診につながるというのがベストかなと思っております。

今、大吉議員おっしゃったように、当然、ご相談があれば、ケース・バイ・ケースですけれども、しっかりと対応して、その後の治療がうまくいくように努力いたします。

以上です。

○6番（大吉 皓一郎議員）

相談もしてますよ。保健センターは慌てて持ってくるわけですよ、急遽。そしたら、島のは1ヶ月後とか、特診で来る人は1ヶ月後とか、もうそれを待たなくて、もう行ってしまおうとか。ですから、そこを緩やかに少し考えてやってもらいたいと、命に代えられるものはないと私は思っています。だから、そこ辺り、旅費の問題、証明書はやります、当初に載せておるちゅうから、これは解決しました。あと、旅費の問題、旅費も、3町の議員大会でこう決めてあげたら、航空運賃が安いからできないと、県はそういうこと言ってますから、これも一つの我々の課題と思っております。

ですから、命に代えられるものはないと私は思っていますので、この点を十分、持ってくる時も、そういうふうな、保健センターの職員が持ってきます、慌てて。そこ辺りも十分指導しながら、特別な人は急遽、内容も少しは、この検査するところも少しは重症かどうかというのも分かると思うんですが、そこ辺りもちょっと、内容をもっと詳しくこう説明できるような体制に持って行って、ぜひスムーズに、命を落とさないようなやり方をする工夫が必要でないかと私は今言っておるわけです。ぜひ、そういうことを要請をしておきます。

○けんこう増進課長（碓本 順一君）

ありがとうございます。保健センターを筆頭に、町民の皆さんの健康をしっかり
と守るのがけんこう増進課だと思っております。

今後、町民の皆さんが少しでも安心して生活できるように、いろんなスキルアッ
プを図りながら、町民の皆様と寄り添って、業務を進めていけたらと思います。あ
りがありがとうございます。

○議長（柏井 洋一議員）

あと、課長、町民にね、悪くなる前に健診を受けてくださいということ、お願い
してごらん。

○けんこう増進課長（碓本 順一君）

今、特定健診、毎年勧めております。この健診なんですけども、ぜひ毎年受けて
いただきたいと思います。年々の体の変化というのを把握することがいろんな疾病、
病気の早期発見につながります。もし異常が見つかった場合には、先ほど申し上げ
たように、保健センターにご相談いただければ、また一緒にその先のことは考えら
れますので、まずは特定健診の受診を毎年行っていたいただきたいというところを、ま
た町民の皆様をお願いしたいと思います。

終わります。

○6番（大吉 皓一郎議員）

ぜひ、健康が一番ですので、これを十分頭に入れて、また、もう少し、毎年受け
ていますよ、私たち、私は。私の周りの家族も受けとるんですけど、そういったの
が出てくる、年になるといろいろ出てきます。ですから、そういったのに対する対
応というんですかね、もう少し速やかな対応すればいいけど、非常にハードルが高
い感じがします。もう少しこうハードルを落として、また、説明に来るときもソフ
トな言い方でやってもらいたい。玄関で説明するんですよ、保健センター。僕は、
ほかの部屋ないねということまで言いましたけど、それ、もらいに行って、いろい
ろ聞きに行くときに。そういったこともちょっと胸につかえるところがあったも
のですから、非常にちょっと興奮しているところです。

非常に、皆さんがやっているのはよく分かるんですけど、やっぱりそういったこ
とは、命にかかるとはもっと大事にしていかなれないかという私の要望と要請でご
ざいますので、ぜひ心に留めておいてもらいたいと思います。

次に、建設行政ですけど、県道80号線・県道83号線の改良完成までの時期と
予算についてということで質問を出してありましたが、町長が答えたのの中に、ち
ょっといかがかなというところがありますが、事業や予算については、用地取得の
状況や社会状況の変動などもあることからお示することは困難ですと、これ、課
長、83号線について、電話とか直接行って話を聞いたとか、向こうの説明会のと

きとか、どういった内容で何mなのか、聞いたことありますか。

○建設課長（宮山 浩君）

お答えいたします。

事業延長は860m、そのうち橋梁が31m入っております。予算につきましては、今年度は8千万円、来年度もまだ県のほうで議会に上程する前で、査定の前にございますが、今年度と同等の予算を要望しているということでございます。全体の事業費につきましては、今言った理由等ありまして、お答えできないということでした。

○6番（大吉 皓一郎議員）

それは非常に、昨日、課長のところに行っただけですけど、距離が900m、歩道も言ってますね、歩道。それは聞きませんでした。それと完成年度、令和何年までとか、そして大体の総額を、電話して聞いたなら言ったと思いますけど、大体の総額、令和10年までの、幾らぐらいかかると言っていました。

○建設課長（宮山 浩君）

その令和10年というのを私のほうは聞いておりませんでした。今、大吉議員のほうから聞いたところでございます。総額についても、まだお答えは頂いておりません。

○6番（大吉 皓一郎議員）

課長、説明会もあって、向こうで住民説明会がありました。あのときはガヤガヤしてちょっと聞かれなかった。しかし、これ、非常に大きなプロジェクトですよ、天城町にとって。そこ辺り、ちょっと今からでもいいですから、電話をすれば、これ、教えてくれます。この、僕が質問している間に、誰か補佐にでも電話させてくださいよ。担当の名前も言いましょうか。一職員にも、我々に教えますから、そこ辺りこういったのにこういうのを書くこと自体が僕は不愉快でたまらない。ちょっと、議長、休憩して電話させてください。

○建設課長（宮山 浩君）

お答えいたします。

令和8年頃を目指しているということです。総額もその頃は8億程度だったんですが、今言った理由から、全体、10年ぐらいまで延びる、また用地交渉、その他あるということで、最終的な今の全体額をお示しできないということを県はおっしゃっております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

それ、いつの話でしたか。

○建設課長（宮山 浩君）

昨年度の話です。

○6番（大吉 皓一郎議員）

そんな古い情報を持っておったら、優秀な課長、それじゃいけませんよ。これ、ずっと下に、もっと、僕、質問していきますけど、町長の回答にこういったことを書かれると、我々議員としては、何をやっているかも分からないし、これ、私は十何回も質問しております。これ、ちょっと誰かに聞かせてください。平成10年度完成までに大体何億ぐらいかかりますよというぐらいは教えてください。ぜひお願いします。名前も言いましょうか。道路係長に聞けばすぐ分かりますよ、そんなの。

○建設課長（宮山 浩君）

お答えします。

県の事業でございまして、今、徳之島事務所の建設課のほうでこの事業を進めております。全体的には、県庁の道路建設課あるいは財政、その他県議会がございしますので、なかなかその幾らかかるということは、こちらの出先の機関ではお答えできない、また先ほど申しました、いろんな理由によって、総額は年々変わってくるんであろうということで、お答え、今はできないということです。これが終盤に差ししかければ、例えば、過去3年、例えば、令和10年、8年、10年、9年、10年頃になれば、目標の最終的な予算的なものは固まってくるんだらうと思います。今、始まったばかりで、あと幾らかかる、そういうことが今お示しできないということでございます。3年程度ぐらい先の予算であれば、県のほうもお答えできると思います。

○6番（大吉 皓一郎議員）

堂々巡りになりますけど、課長、これ、大体何年ぐらいまでとか、県も持っていると思いますよ。ほいで、予算も大体これぐらいかかりますよということで、1年前聞いたというよりも、これ、新しい情報、僕はこれ出してありますがね、これ、質問に、予算に幾らかかりますかと。ちょっと議会、議長、止めて聞かせてください。これやらないと私は質問できません。通告してる。

○建設課長（宮山 浩君）

お答えいたします。

繰り返しになりますが、私ども天城の予算でありますと、今、長期振興計画とか、過疎計画、その他に概算の金額は載せております。県のほうは、それが、今、県の議会がありますので、なかなかその出先のほうではお答えできないということございまして、全体的なその道路建設の5年計画とか、そういうのは多分お示しできると思うんですが、5年先、また10年計画までお示しをして、今のところ、私どもものほうには少しお待ちくださいということございましたので、そういうことで、

今、徳之島事務所のほうとはそういうやりとりをしているところでございます。

今年度は8千万、来年度も同じぐらい、今のままでいきますと、同じ予算規模で、あと8年ぐらい進むのではないかと考えております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

幾らぐらいになるの。

○建設課長（宮山 浩君）

先ほどお答えしました、8億程度だと考えております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

一個人に、個人に教えますよ、私に。あなたの建設課長っちゅう、役場のちゃんとした人に教えてない、僕は聞いてないと思いますよ。ちゃんとした、ここに完成までの時期と予算についてということを書いていますから、そこ辺りを大まかに、大まかですよと、ことでいいんじゃないですか。それをこの町長の回答にお示しすることは困難と、こんなことを書かれたら、何を仕事しているか分からんよ、あんたは。僕はきのうも言ったがね、あなたのところに行って、ちゃんとこういうことを言っていますけど、どうですかと、突っ返したがね、僕にその書類を。

○議長（柏井 洋一議員）

しばらく休憩します。

○6番（大吉 皓一郎議員）

回答してから。

○議長（柏井 洋一議員）

1時から再開します。

休憩 午前11時53分

再開 午後 1時00分

○議長（柏井 洋一議員）

休憩前に引き続き会議を開きます。宮山建設課長。

○建設課長（宮山 浩君）

お答えいたします。

県道83号線、伊仙天城線真瀬名工区でございます。事業期間が令和2年から令和10年、おおよそ、県が公表しているおおよその事業金額が8億3千万円でございます。

○6番（大吉 皓一郎議員）

今、具体的な、大体私の持っている資料と同じような金額になりました。これで少し怒りも収まりました。

それで、やっぱり町長がこういうのを書かれる場合には、少し私たちのことも考えながら書いてもらえばありがたいと思うんですけど、全くできないというような書き方をされると、私、このことに対して13回ぐらい質問しております。非常に、地方当局、町長さんが努力していることは分かるんですけど、およそですからね、およそ、私には平成10年までかかるということをおっしゃっていました。そして、多く見積もって9億ぐらいだろうと。課長、それと、その歩道はどうなっていますか、歩道。

○建設課長（宮山 浩君）

歩道も今より幅の広い歩道は設置されます。

○6番（大吉 皓一郎議員）

中学校の通学路になっていますので、非常にいい道ができて、その真瀬名橋も大型ダンプが、きびを積んだ車が両方離合できるようになるという話を聞いております。それで非常にそこの高さも上がってくると、今の橋よりも4mぐらいその辺は上がっていくという話も聞いておりますが、多分そうなると思いますが、そこ辺りの形状、少し分かりましたら、お願いします。

○建設課長（宮山 浩君）

真瀬名の橋でございますが、北側のほうで大体2.5mぐらい今の入り口が高くなります。南のほうに向けまして、橋の終点のほうが現状より4mぐらい上がります。そのまま天城中学校まで平均勾配でいきますので、また、天城中学校までのS字とか急カーブ等は大きなカーブに緩和されます。ですので、東側に大分盛土ができますが、今、その盛土の図面もできていますので、そのまま用地交渉で進むものと考えております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

だいぶカーブもなくなって、非常に車も通りやすく、事故もなくなるだろうと予想しておりますが、これに対して、用地交渉、だいぶかかると思うんですけど、町側としてどういう協力していこうと思っておりますか。

○建設課長（宮山 浩君）

用地交渉のほうは、基本的に、私どもと一緒に回ることはございません。県のほうから相談があれば、その間に入ったり、そういうことはいたします。まずは、県のほうが先行して交渉をされていかれます。少しいろいろ厳しいところがある場合には、私どもに相談がありますので、対応させていただきたいということは話しております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

ぜひ用地交渉、伊仙町のほうの話を聞くと、立派な道がよくできておるんですけど

ど、その前建設課長の話やら聞いてみますと、用地交渉にだいぶ、自分たちは一緒に回ってやったと、県のですけど、我々のものですから、ぜひ顔見知りの方が行くと非常にうまくいく場合もありますので、ぜひ要請があったら協力してもらいたいと思います。

そして、ベテランと若手を連れていくと、若手もまた勉強にもなるし、非常に相乗効果が出てくると思います。地元の方が行ったら、ああ、あんたが来たからねとかいう感じで乗ってくれると思いますので、ぜひ努力をして、早めの完成を要請し、また期待をしておりますので、頑張ってもらいたいと思います。

この1番目は、1項目めは終わりたいと思います。そういうことで努力をしてもらいたいと思います。

次に、天城尻田線の進捗状況について、お願いします。

○建設課長（宮山 浩君）

尻田線につきましても、大吉議員のほうから数多く質問をいただいております。

今、地籍を調べまして、路線の図面は書けないんですが、どのような問題があるか、今、課のほうで検討しております。

筆界未定地が筆でいうと13筆とあります。あと所有者不明、失礼、所有者が今、島にいない、どこにいるか分からないというのも2筆ありまして、今、その辺の調査をしております。

あと、筆界未定につきましても、地権者同士の話し合いを待っているところがございますが、なかなか進んでいないという状況です。

○6番（大吉 皓一郎議員）

この道路というんですかね、これは町長が就任してすぐ、集落座談会のときに、私、天城の集落座談会に行ってみました。ここでも話したと思うんですけど、一応、集落座談会、終わりましたときに、町長が立ち上がって、ちょっと皆さん待ってくださいというので、私は何を話すんだろうかと思って、こう、しとったら、何とかこの尻田線を通して、向こうの納城のところも道を何とかしたいという話をしたので、びっくりしまして、おったら、一人の我々みたいな高齢の人が立って、この納城後ろは、県道から向こうは、百年来、道が変わっていない、何とか町長さん、これを広げるようにお願いできませんかという話がありました。

そこ辺り、町長の、先を見る目というんですかね、住民の心を読んどころがあって、非常に興味したんですけど、やっぱりこういうのは、町長の専権事項ですので、なるべく早く、私もここの辺りを全部歩いて、一筆一筆こう当たってみました。あと、1ヶ所に寄れば、片一方にどっちか寄れば、最後のほうの一ヶ所だけがちょっとずっと以前に買ったので、登記ができていないという感じのような感じが

しますが、だいぶ進んでいる感じしますので、ぜひこれ努力して、どっちか早めに決めて、早めの工事にかかれるように要請を頑張ってもらいたいと思います。

また、天城の人たちも、そこのその通りの人たちも、もういつやるのいつやるのという話も聞こえます。ですので、何とかこれを努力して、早めに話をされて、また、役場における地域のその縁故者もおると思うんです、ぜひそういう人たちからも話をしていくとか、いろんな手を使っていけば何とかできると思いますので、町長の思いというのが通じると思います。ぜひ早めの対策を、要望というんですか、お願いをしておきたいと思います。

次に、大津川千間線の改築状況についてお尋ねします。

○農地整備課長（大久 明浩君）

お答えいたします。

町長のほうからもありましたが、千間海岸へ下りる道路になります。延長が488m、そのうちコンクリート舗装が420m、あと、アスファルト層が68mと、合計で488mの舗装となります。

状況ですが、10月の25日に入札のほうを終わりました。26日から事業のほうを開始しているわけですが、ダイビングショップのほうの予約等もありまして、11月の24日までが予約が入っておりましたので、通行止めのほうを、その後に通行止めをさせていただいております。

状況としては、現在、入口のところから160mほど下ったところ、この57mほどあるんですが、幅員がどうしても4m取れない状況でありましたので、左側のほう、上から下っていくと左側のほうの既設ブロックが14mほどありまして、その上部、あと下のほう、EP側のほうになりますが、上のほうがL型擁壁8mです。下のほう、ブロック積み16m予定しておりまして、今現在、16mのブロック積みのほうの基礎のほうを実施しているところです。

今年度は57mの7mの舗装と、あとのり面保護のためのL型擁壁、あとブロック積み等実施してまいりたいと思っております。予算的には2千万ちょっとぐらい、今年にかかる予定でおります。

次年度以降、5年度で終わらす予定ではいるんですが、どういうことが起こるか分かりませんので、そこについては予算をちょっと多めに確保しながら取り組んでいきたいと思っております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

ここはダイビングのメッカでありまして、非常に目立たないんですけど、あの急な坂を下りていっています。私ども、今、怖くてちょっと下りられない現状なんですけど、たまに行くとやっぱりダイビングの方が下りていって潜っております。や

っぱりそういうダイビングのメッカとか、そういったポイントをつくっていけば、ここにも集まってくるし、またそういう商売する人もここに出てくると思います。この兼久辺りの。またその環境辺りも整備をしなきゃいけないと思うんですけど、これは観光課のほうなんですけど、そこ辺りもちょっと整備をしていけばいいと思うんですけど、まだこれは質問していないので、これは私の考えですけど、以前は堤防の上に何かゴムシートを張ってやるとか、そこ辺りへこんどるところをちょっと埋めてもらうとか、そういう話もしておったんですけど、それが急に事業がストップして、トイレだけになってしまったんですけど、あそこにある、クワなどを植えて、クワを提供するという人もおりました、そのとき。

だから、そこ辺りの情報を集めて、クワがあって、休憩するところがあって、ダイビング終わったらそこに来てゆっくりできる、また一般の人も海水浴ができる、そういう場所にしてもらえば、天城の一つのメッカができると思いますので、ぜひ観光のほうも協力して、これ、事業再開を何とかしてもらえればありがたいと思っていますが、そこ辺り回答は要りませんが、考えてはおりますかね。それだけちょっと、ご質問していないので言えませんが、ここの以前は回答あったんですけど、急遽で悪いんですけど。

○商工水産観光課長（中 秀樹君）

お答えいたします。

議員のおっしゃるとおり、千間海岸については、島内随一のダイビングスポットであること、我々も認識しております。

また、今回、その下り口の農道整備が進んでおりますので、今後、また状況を見ながら、町長のほうと合議をしながら、事業採択に向けて、どういったことができるか、どういった整備ができるかを基に協議をして、長期的に事業展開できればなと思っています。

○6番（大吉 皓一郎議員）

そういういろんな整備をすること、道路ができたら非常に下りる客も多くなってきて、非常にそういうメッカができて、天城も少しにぎやかになると思いますので、そういう、ショッピングセンターもできる、ダイビングのですね、そういったことでぜひ両方合わせてこの道ができるということが第一ですので、本当に完成まで何とか気を抜かず頑張りてもらいたいと思います。要請をしておきます。また、観光のほうにも、ぜひ、せめて来年度辺りぐらいは事業を進められるようお願いを、要請をしておきたいと思います。

そういったことで、ここがダイビングのメッカになるように、心から私は願っておるものの一人でございます。非常に整備が進んでいるということで、うれしく思

っております。

次に、兼久前中組・美笠6号線も狭隘で、防災上からも改良はできないかということですが、回答をお願いします。

○建設課長（宮山 浩君）

町長の答弁にもありましたが、美笠6号線につきましては、一部、半分ぐらいですが、今、測量設計して、用地の提供をいただけるようですので、拡幅をしていきたいと考えております。

前中組線、延長が500mほどありまして、狭いところでは普通車もなかなか通りにくい、軽自動車でないと通りにくいような路線になっております。この前中組線をはじめ、その前中組線に県道から入っていく、短い路線もいっぱいあるんですが、全てそういう状態になっておりまして、もし兼久のその沿線の方で、土地の提供等ございましたら、昨年も行いましたが、隅切りですとか、交差点の隅切りあるいは道路の拡幅、飛び飛びではあっても、そういうふうなことがあれば進めていきたいと考えております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

ここは、先ほども話したように、消防車も入れないような現状でありまして、多くのほうは、前中組、以前、少し竹やぶのほうを切ったりして、広くしているところもありますが、ぜひ努力して、ここが消防自動車が入って、安全で安心な生活ができるような状況になるように努力をお願いしたいと思っております。

今回は、こういったことで質問は終わらせていただきますが、ぜひ努力を要請しておきます。

次に、瀬滝愛心園入り口のごく30mぐらいの、ここに大きく書いてあるんですけど、コーラル舗装をしてあるところがあるんですけど、そこに通所する人たちもおりますし、非常にがたがたする、私もたまに用事があるんですけど、何でこんなところがあるんだろうかと思うぐらいな舗装なんですけど、ここ辺り早めの対応はできないでしょうか。

○建設課長（宮山 浩君）

お答えいたします。

瀬滝三京一号線、愛心園のところですね。

○6番（大吉 皓一郎議員）

愛心園の入り口。

○建設課長（宮山 浩君）

この路線、延長が160mぐらいありまして、入り口出口、BPとEP側がアスファルト舗装になっております。一番低いところがコンクリート舗装で、今、少し

路面状態が悪い、幅も少しだけ狭いのかなと思っております。

現在、委託中の路面正常調査で、ここも一応調査をする予定にしております、今、補助事業でやっている舗装修繕事業、これが導入できないか考えておりますが、今、大吉議員が言われるように、短い区間を区切ってでございますと、集落環境整備事業等をまた検討していかないといけないかなと思っております。大雨等のときに、また、その一番低いところの状況を確認させていただいて、対応してまいりたいと思っております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

事業を入れることも非常にありがたいことなんですが、その舗装のところが物すごい凸凹なんですよね、そのところは緊急的にでもできないかという相談ですが。

○建設課長（宮山 浩君）

はい、分かりました。状態を確認して、すぐに応急処置をさせていただきたいと思っております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

建設行政については、いろいろと大変なところが多くて、皆さん職員も一生懸命やっておるんですけど、大変でしょうけど、やっぱり非常に道路ですので地面に関することが多くあります。そういったことで、私、注視しておりますので、何とかそういったところを早急にまた直してもらうように要請をして、建設課の質問を終わりたいと思っております。努力をしてもらいたいと思っております。

続けて、教育行政に行きます。

通告してあります、不登校の児童生徒に対し、教育委員会はどのような対応をしているかということで、まず、1回目の回答を見ていますが、これ細かなことを、私、2回、この不登校のことに対して、この書き方とか取り直しました。ぜひ、これ、電話連絡、家庭訪問1回とかありますが、教育長、特に休みがちな子に対しての対応の仕方について、ちょっとそちらのほうで大まかな説明をお願いします。

○教育長（院田 裕一君）

いや、すみません。具体例は、この子がこういうということではお話はできません。学校がやはり中心となって、例えば、その休んでいる子に対して家庭訪問をする、そして、もちろん電話連絡をして家庭訪問をする、そしてまた、その子の、例えば、その子の好きって言ったら変ですけども、興味のあるような、例えば、行事等のときに、さらにしっかりした、できたらこうちょっと学校に来てみないとか、そういう誘いをするとか、そういうふうなことを、今、学校のほうが中心としてやっております。

また、我々教育委員会は、随時そういう情報をつかみながら、そしてまた、その

なかなか学校に行けない子供を取り巻く生活環境というか、いろんなつながりを持っている子供がいますので、そういうつながりがある方々にしっかりまた我々も情報をつかまえて、そして、例えば、いろいろまた社会に出ていくというか、家にずっといるのではなく、少し外の空気を吸ってみるような、そういう促しをするようにやっているところでございます。

以上です。

○6番（大吉 皓一郎議員）

特に、百何日とか、非常に欠席が多い子供が多い、養護教諭が必ず電話をしているとか家庭訪問をしとるとか、週1回必ず、書いてありますけど、やっぱりこの子供たちは寂しいし、僕もたまに訪問するんですけど、会って話をすると別に普通の子だし、昼食でも食べに来ないとか、そういった話からまず持っていけば話が進んだり、まず部活来ないかとか、そういう話はしたことありますか、その先生方は。

○教育長（院田 裕一君）

先ほど申し上げましたとおり、もしその子がそういうところに興味があれば、当然部活活動も勧めているという話は聞いております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

私は、こういう電話連絡する、週1回会う、こういった情報を教育委員会に上げてもらって、対策をどういうふうなやり方をしているかというのを、まず、最終的には聞きたいわけなんですよ。

私の集落には、そういった子供がいっぱいおりました、以前。たまに行ってキャッチボールしてあげたり、話をしてあげたりとか、運動会の応援の練習に行けばとかいう話をしたら、もう学校に行くようになりまして、もう立派な社会人になっている人もだいぶおります。

非常にこの好きなことから入っていく、部活に行くとか、それで学校に行き出したとかいうこともあります、原因は、皆さん、これ分かっていますか、これ全部。特に長期欠席者、そういう話をしたことがありますか、教育長は、そういう校長先生なんかと。

○教育長（院田 裕一君）

私も直接会える子は顔を見たり、もちろんします。でも、なかなか会えない子に関しては、例えば、中学校に行って、校長先生もいろいろ会うような努力というか、そういうことをするように話をしております。

そしてまた、うちの指導主事等が、ケース会議というんですか、A君について学校、それから関係するスクールソーシャルワーカーとかそういうのをひっくるめながら、この子に対してどういうふうな、これからやっていけばいいのかとか、例え

ば、中学生になれば、その後の進路もありますので、進路をどんなふうにして、その子にいろいろお話を持っていくとか、そういうふうな、するように話をしているところでございます。

○6番（大吉 皓一郎議員）

非常にこの、親も悩んどるし、学校も悩んどる、非常にこういう子供がおると、精神的に、周りの、近所の方も非常に精神的に困ったなという感じにもなりますが、本当に元気よく子供がおしゃべりしながら登校していく姿を見ると、非常にうれしいんですけど、家に閉じ籠りつきりになると非常にこう暗くなりますよね。そこ辺り考えて、何とかして外に出すとかやるんですけど、具体的にこういうことしているという、そしたら来出したよとかいう、ここ一、二年間でそういうのいないんですか。ずっと多くなっておる感じがしますが、休みの、長期欠席者というんですかね、こういうことをしたから学校来出したとか、そういう子供いないんですか。

○教育長（院田 裕一君）

中学生も、例えば、もう3年生ぐらいになると、次の進路のことを考えないといけなくなります。もう目の前にそういうのがやってきています。

それで、これはもう、ある子なんですけれども、今までほとんど行けなかったんですけれども、先ほどもお話ししたように、そういう音楽に関する、そういう学校行事とか、そういうところにこう少し出てきて、そして、今、本当にこう将来というか、高校をどうしようかというところをしっかりと担任と話し合うようになってきて、そしてまた、毎日ではないんですけども、今、週に何回か学校のほうに足が向くようになってきたという、そういう報告を受けております。

以上です。

○6番（大吉 皓一郎議員）

非常に、そういう子供の興味のあるところから行けば、すぐ学校に慣れてきて、学校に行くようになります。私も何度かそういうことをしたことがあるんですけど、時間がないので、ちょっと話すことはできませんが、ぜひそういうところから入って行って、趣味のところから、子供たちの、で、やると、これをこの文書を見るだけでは、ただ電話連絡、家庭訪問しか書いてないものですから、我々はどういうことを話をしているのか分からないわけですよ。今、教育長がおっしゃった、そういう趣味の部分とか、そういうところから入って行って話をしていくと、先生が代わってもいいと思いますよ。今っちゅうか、ちょっと空いている時間に、学校、そばだから、家。そういうことをお勧めしたいと思いますが、ぜひ努力をして、この子供たちが生き生きと学校に笑顔で友達と通えるような環境をつくってもらいたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○教育長（院田 裕一君）

子供たちもやはり学校に行って、そしてほかの子供たちと一緒にあって、自分の持ち味とか、そういうところを発揮したい、やっぱりそのためには、今、議員がおっしゃったように、やはり我々周りの大人がそういうふうにもいろいろと情報発信をすとか、声かけをすとか、やはりそういうふうにもやっていくということが大切かなと思っております。

また、中学校の問題は小学校、やっぱりその小中連携とか、そういうところもすごく大切だと思いますので、教員の交流も併せながら、全員でその子供を見守っていくということが非常に大切かなと思っております。

以上でございます。

○6番（大吉 皓一郎議員）

教員が、教員はブラック企業と言われますが、何となく、何となくじゃなくて、少しでも時間をつくって、この子供と話ができるような体制をつくって、そして学校に引き込んでいくような体制をぜひつくるように、教育長、ご指導してもらえればありがたいと思うんです。こういうことを要請しておきます。

周りにこういうことがあると、非常に周りの人たちも、非常に嫌な思いをしながら過ごしていかなければなりません。ぜひみんなが明るく笑顔で学校に登校できるようにしていこうではありませんか。我々ができることは協力したいと思います。

これを終わりにして、次に、社会教育課、行きます。それと、教育長、名瀬に行かれることがありますよね、名瀬のふれあい教室、見たことありますか。

○教育長（院田 裕一君）

私はありません。また今度、名瀬に行く、がありますので、必ずそのときにはまた見学というか、していきたいと思います。指導主事は行きました。

○6番（大吉 皓一郎議員）

名瀬、庁舎内にありますので、少し開けたりしてやったり、庁舎でやって、ちょっとおがみ山に登るとか、市場を見学すとか、そういったこともやっているようです。私、一度見学に行ったら、前も話したとおり、ちょこっと開いとるので、見てみまして、いろいろ情報を聞いてみました。ぜひそういったことも必要じゃないかと思っております。名瀬に行く教師とか、そういった方にも進めて見てもらえばありがたいと思っております。

次に、社会教育課、社会教育課の以前からお願いしておる、非常に遅くまでスポーツ少年団やっています。岡前小と天城小学校のグラウンドの夜間照明、それと天中の夜間照明について、今現在どういう現状なのか、お願いします。

○社会教育課長（和田 智磯君）

お答えいたします。

まず初めに、岡前小学校と天城小学校のスポーツ少年団を対象とした夜間照明施設ですが、先般入札が終わりまして、今、工事の段取りをしているところにあります。

利用者の皆様には、この暗い時期、少し不便を感じさせておりますが、以前まで大会等がありまして、なかなかどの時期のタイミングでいくかちょっと難しく、今になりました。

天城中学校の夜間照明のほうに関しましては、大吉議員から令和2年の6月議会のほうでもご質問をいただいております。その後、2年度、3年度は、水銀灯を角度調整をしながら、使えるものは使っていきながら、何か事業がないかということでも少し探しておりました。

令和4年度の当初予算で実施設計の予算をつけていただきまして、今、実施設計までは終わっております。11月の14日付、t o t oのほうから申請様式が全国一斉にホームページを通じて出ましたので、今、その申請書を準備しているところであります。

これから年明けの1月13日が締切りになっておりますので、そこに間に合うように職員と協力しながら出していきたいと思っております。利用者の皆さん、利用者の団体の皆様には不便をちょっとおかけしますが、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

○6番（大吉 皓一郎議員）

学校の照明なんですけど、非常に日が落ちるのが早くて暗い中でやっておる、一般の人たちも非常に危険だなということを感じていますが、これ、業者に言っても早めに明るくできるようにできないものではないのでしょうか。もう何とか急がさないといういろいろ批判もあるような感じ、暗い中でして、けがをしたらどうするんだということを大きい声で言っている人もおるみたいですので、ぜひそこ辺り、課長のほうから急がすような方策は考えられませんか。

○社会教育課長（和田 智磯君）

お答えいたします。

業者の皆様にもお願いはするんですけども、各種利用されている団体とも協議をしております。どうしてもこの時期に南三島大会のサッカー大会があったり、テニス大会があったり、少し練習に支障になるので、何とかそこは練習をしたいという希望も聞いております。また、業者のほうにもその旨を伝えておりまして、調整をしながら、できるだけ早めに完成するように取り組んでいきたいと思っております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

ぜひ早めの完成して、もう日がすぐ落ちますので、ぜひけがないようなやり方、安心・安全な、子供たちがスポーツができるように、ぜひ急がせてください。そうじゃないと、いろんなところから大きな声で暗い、危ないとかいう声が聞こえますので、そこ辺りぜひ配慮して、早めの対策を打ってもらいたいと思います。

それともう一つ、線刻画にトイレを造るという構想がありました。これはいつの間にかなくなっていますが、どういう事情でしょうか。

○社会教育課長（和田 智磯君）

お答えいたします。

線刻画のほうにトイレをという計画があったんですけども、令和3年度から県の地域振興推進事業というものを使ってやっております。段階的にしていくものがあります。この事業の目的が観光交流の促進、交流施設の整備、地域情報発信機能の整備、観光施設への道路の整備等というふうにあります。そこで申請を出して行くわけですけども、令和3年度は看板等の設置、あと誘導標、あとそういったものを、見学順路舗装とか、そういったものを申請を出して終わっております。

令和4年度のほうにも、トイレの設置、駐車場設置のほうをちょっと要望を出したんですけども、ちょっと不採択になりました。町単でいただきまして、線刻画のほうにトイレとなると、水道を引かないとなりません。秋利神の橋のほうからkmほどあるんですけども、その予算を一般財源を活用して、今年度は引かせていただきました。あと駐車場の整備ですね。また、今現在は、トイレ建築を目指しまして、令和5年度の地域振興事業のほうに申請を出しております。内定通知のほうは、今、3月に分かるのではないかとということで伺っております。

○6番（大吉 皓一郎議員）

課長、これ補助をすれば、だいぶ安くで済むわけですから。教育委員会では出張とかないんですか。これを大島支庁のほうで何か査定するとかいう話を聞いておるんですけど、誰か課長に行くときとか、相談に行くとか、そういうことをしたらはまると思うんですよ。だから、みんないろんな手を使わないと、自分たちだけではなかなか難しいですから、もうぜひそういう出張のあるたんびに顔を出す、何回も出す、そういうことによって早めにできてくる、私はそう思います。

特に、今、非常に、じゃがいもの時期に向こうに行きたいけど、女の方はトイレがないから行きたくないとか、そういう話もあるし、大島支庁で何か査定するという話もありますので、ぜひそこ行くときには必ず問題を幾つか持って行くような話をしてください。

特に、ナイターの件は大きく、いつできますよ、いつから使えますよというお話を学校にもしたり、業者にも早くしてくださいという話をしないと、町自体が批判

を浴びる状況にありますので、そこ辺り批判を浴びないような、けがなんかさせないようなやり方をしてもらいたと思います。まあ、厳しい情勢もあると思いますが、そこは分捕り合戦ですので、予算を、その線刻画の件、あと各学校のナイターの件は、町でつけていると思いますけど、それとかt o t oの件、天中の件、これも何かあるときに、ちょっと出張とか行っている人に言ってもらおうとか、そういうところが必要じゃないかと、今考えている現状です。ぜひ、ナイターは早めに、もう遅いぐらいですから各学校、ぜひ、いつできますよ、もう急がせてください。こういうことを要請しまして、教育委員会、頑張ってもらいたと思います。

いろいろと話は、要請、お願いばかりであります。町民のためでありますので何とか、私も町民から言われて、こういったことを皆さんにお願いをしているわけですが、ぜひ、そのところをご理解いただきまして、町民のために、みんなで頑張って、むーるしきばって、いい島になるとと思いますので、どうか、そういう気持ちで私はやっていますので、よろしくまたお願いをいたしたいと思いますが、頑張ってもらいたと思います。よろしく申し上げます。

終わります。

○議長（柏井 洋一議員）

以上で、大吉皓一郎君の一般質問を終わります。

次に、議席番号4番、奥好生君の一般質問を許します。奥議員。

○4番（奥 好生議員）

議場の皆様、また、AYTテレビをご覧の町民の皆様、こんにちは。議席番号4番、奥好生でございます。

本日、最後の一般質問となります。さきの選挙において、町民の温かいご支援のおかげで、これからも、この議場の場で、町民の声を行政に届けることができました。向こう4年間、森田町長が目指す「住んでよかった。暮らし満足度ナンバーワン」のまちづくりのために、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、議長の許可を頂きましたので、早速、通告に従いまして、一般質問をいたします。

1 項目め、瀬滝・兼久地区の未舗装道路の整備計画について。

1 点目、工事の開始時期、完了時期はいつ頃の予定か。

2 項目め、秋利神キャンパスパークの再整備について。

1 点目、周辺道路の改善対策について。

2 点目、再整備の開始時期について。

3 項目め、各集落公民館の補修工事の計画について。

- 1 点目、令和 5 年度の対象集落について。
 - 2 点目、事業の内容について。
 - 4 項目め、町営住宅建設の計画について。
 - 1 点目、令和 5 年度以降の建設予定地について。
 - 5 項目め、兼久小学校グラウンド西側の危険箇所改善対策の進捗状況について。
 - 1 点目、計画の進捗状況について。
 - 6 項目め、教育行政基本計画の見直しについて。
 - 1 点目、見直しの時期について。
 - 7 項目め、給食センターの建て替えについて。
 - 1 点目、建て替えの進捗状況について。
 - 8 項目め、行政サービスの改善について。
 - 1 点目、押印の見直しの取り組みについて。
- 以上 8 項目、10 点について執行部の明確な答弁をお願いいたしまして、1 回目の質問を終わります。

○議長（柏井 洋一議員）

ただいまの質問に対し、答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田 弘光君）

それでは、奥議員のご質問にお答えしてまいります。

1 項目め、瀬滝・兼久地区の未舗装道路の整備計画について、1、工事の開始時期、完了時期はいつ頃の予定かということでございます。

お答えいたします。

瀬滝・兼久地区につきましては、土地改良事業県営通作条件整備（一般農道整備樹園地等型）という事業で整備してまいります。

兼久・瀬滝地区の農道整備につきましては、兼久地区が 6 路線、延長 2 千 8 8 0 m、瀬滝地区が 6 路線、延長 4 千 6 0 0 m を計画しております。

令和 5 年度着手に向けて採択申請を行っているところであります。令和 5 年度に測量及び設計、令和 6 年度以降改良工事を開始し、令和 9 年度完了の予定を目指しております。

2 項目め、秋利神キャンパスパークの再整備についてということでございます。その 1、周辺道路の改善対策についてということでございます。

お答えいたします。

この道路は町道秋利神線になります。現場を確認したところ、道路の陥没、また樹木等で危険箇所が見受けられるところがございます。通行に支障が生じないよう改善に向けて努めてまいりたいと思います。

秋利神キャンパスパークの再整備について、2、再整備の開始時期についてというところでございます。

お答えいたします。

私は、このたびの選挙におきまして、子供から高齢者までみんなが健康の町を目指すということを訴えてきました。その中で、当秋利神キャンパスパークにつきましては、グラウンドゴルフ場として整備していくという思いを述べさせていただきました。

公園内が老朽化しております。その老朽化した施設や撤去しなければならない施設などの工事も含まれますため、まずは令和5年度におきまして調査・設計を進め、その活用できる補助事業等の導入を目指していきたいと考えております。

3項目め、各集落公民館の補修工事の計画についてというところでございます。その1、令和5年度の対象集落についてというところでございます。

お答えいたします。

近年の大型化する台風災害等に備え、本町の指定避難所であります集落公民館の防災機能強化を図るため、奄美群島成長戦略推進交付金を活用した防災関連施設整備事業により、年次的に補修工事を進めていく計画でございます。

令和4年度、今年度は、前野集落及び西阿木名集落の補修工事を現在進めております。

令和5年度の補修工事の対象集落は、与名間集落・松原上区集落・瀬滝集落を計画しております。

また、昭和56年以前に建設された旧建築基準の8ヶ所の施設につきましては、耐震診断を本事業で実施していく計画であります。

各集落公民館の補修工事の計画について、その2、事業の内容についてというところでございます。

お答えいたします。

指定避難所であります各集落公民館の防災機能強化を図るため、台風災害等に備えて雨戸・シャッターを設置する防風及び防水対策を行います。

また、併せて避難者の安心、快適性を確保するため、施設のバリアフリー化や多目的トイレを含むトイレ改修・シャワー室や空調設備・備蓄倉庫の整備を行うという計画で進めております。

4項目め、町営住宅建設の計画について、その1、令和5年度以降の建設予定地についてというところでございます。

お答えいたします。

令和5年度以降の町営住宅建設予定地は、令和5年度に名須C団地、令和6年に

同じく名須C団地、令和7年度に大和川団地、令和8年度以降は兼久団地の計画ということになっております。計画的に順次建て替え等を進めていきたいと考えております。

5点目、兼久小学校グラウンド西側の危険箇所改善対策の進捗状況について、計画の進捗状況についてはいかがかということでございます。

お答えいたします。

兼久小学校グラウンド西側の町道瀬滝通学路3号線につきましては、設計委託を発注したところでございます。設計が終わり次第、工事を発注し、事業を進めたいと考えております。

6項目め、教育行政基本計画の見直しについて、7項目め、給食センターの建て替えについては、教育長のほうからお答えいたします。

8項目め、行政サービスの改善について、その1、押印の見直しの取り組みについてということでございます。

お答えいたします。

行政手続の簡素化及び町民の負担軽減、利便性の向上を図るため、本町においても押印見直しについて検討し、基準を定めております。

昨年度、役場全課で申請書や届出書、報告書等677件を精査し、押印の必要な書類277件、押印の必要がない書類400件とし、令和4年2月1日から天城町申請書等の押印省略に関する規則を定め、施行したところでございます。

以上、奥議員のご質問にお答えいたしました。

○議長（柏井 洋一議員）

次に、教育行政について答弁を求めます。

○教育長（院田 裕一君）

それでは、奥議員の質問にお答えいたします。

6項目めの教育行政基本計画の見直しについて、その1点目、見直しの時期についてでございます。

お答えいたします。

9月定例議会においてもお答えさせていただきましたが、教育行政基本計画につきましては、令和5年度に作成することになっております教育大綱を基に、有識者の方々から意見を求めながら、天城町に即した教育行政基本計画の策定を進めてまいります。

続きまして、7項目め、給食センターの建て替えについてでございます。その1点目、建て替えの進捗状況についてでございます。

お答えいたします。

9月定例議会において、ご質問もありました学校給食センターの進捗状況ですが、現在、建設候補地の地権者の方と最終的な調整を行っております。早急な事業推進にむけて取り組んでまいります。

以上でございます。

○議長（柏井 洋一議員）

しばらく休憩します。2時10分より再開します。

休憩 午後 1時59分

再開 午後 2時10分

○議長（柏井 洋一議員）

休憩前に引き続き会議を開きます。奥議員。

○4番（奥 好生議員）

先ほど、森田町長と院田教育長から答弁をしていただきました。

ほぼほぼ90%ぐらい満足のいく回答だったと思いますけども、簡潔に、1項目めから再度、担当課長のほうに質問していきたいと思います。

1項目めの1点目でありますけども、工事の開始時期、完了時期はいつ頃の予定かについてでございますけども、令和5年度着手に向けて採択申請を行っているということでございますけども、採択の決定はいつ頃になるのかをちょっと教えていただきたいと思います。

○農地整備課長（大久 明浩君）

お答えいたします。

採択時期につきましては、年明けの6月頃を予定しているところです。

その前に、今月15、16日に、その法手続の同意徴収を実施したいと思っております。文書のほうももう発送しております。

15日、瀬滝地区構造改善センター、16日に兼久の公民館のほうとなっておりますので、通知のほうが住民の方届きましたら、ぜひその説明会のほうに丸一日、2日間、担当職員が待機しておりますので、説明を聞いて同意徴収のほうに御協力をお願いしたいと思っております。

完了時期につきましては、令和9年を予定しております。

○4番（奥 好生議員）

この事業は農林水産省の事業だと思うんですけども、都道府県が作成する通作条件整備計画に基づいた農道の改良だと思うんですけども、見通しについてはどうですか、採択される見通しについて。

○農地整備課長（大久 明浩君）

お答えいたします。

ここにつきましては、県のほうと一緒に動いているところでありまして、見通しとしては、6月採択通知という方向で今動いておりますので、まず間違いはないと思っております。

○4番（奥 好生議員）

ぜひ、これ集落の30年来の要望事項でありましたので、しっかりと県と連携を取って、採択をして、事業に向けてやっていただきたいと思っております。

続きまして、2項目めですけれども、秋利神キャンパスパークの再整備について、周辺道路の改善対策なんでもございますけれども、改善に向けて努めてまいりますという回答でございました。

瀬滝側、西阿木名側からの旧県道なんですけれども、御存じだと思えるんですけども、あそこには沖縄では幻の花と言われている希少植物もあるんですけども、話聞いておりますか。

○建設課長（宮山 浩君）

申し訳ございません。存じ上げておりません。

○4番（奥 好生議員）

イルカンダという、つる性の植物があるんですけども、ぜひ企画課、自然保護対策の方などとも協議をされて、伐採のときは、そこら辺はちょっと気をつけてやっていただきたいと思います。

以上です。

続きまして、再整備の開始時期でございますけれども、まだ町長にちょっとお尋ねします。

グラウンドゴルフ場を整備していくという、町長のその思いも聞いておりますが、以前、秋利神キャンパスパークは結構全町民が利用して、こどもフェスタとかやっておりましたけれども、だんだんそれが規模が縮小なって行って、最終的には集落の負担になって、だんだん行事ができなくなってきた経過はあると思うんですけども、再整備をするに当たって、やっぱり集落の合意形成というか、そういうところも必要ではないかと思っておりますけれども、そこら辺、町長としてのお考えをお聞きします。

○町長（森田 弘光君）

お答えいたします。

キャンパスパーク開設当時、地域の方々が大変にぎわっていた施設でございます。

その後、なかなかそういうイベントもできなくなって、管理が行き届かなくなりました。また、議会の皆さん方のお力を借りて刈払い等もしたこともあります。なかなかそういった中で、今の状況を維持するというのは大変な状況にあるかと思っ

ております。

今、やっぱり子供から御高齢、お年寄りの方まで、みんなが町民こぞって楽しめるスポーツはグラウンドゴルフだというふうに思っております。

グラウンドゴルフ協会の皆さん方からも、そのような天城町にいわゆる公式というか、大会ができる、そういうグラウンドゴルフ場がないので、ぜひキャンパスパークに造っていただけないかという声などもございます。まずはそこら辺の声をしっかりと受け止めていきたいということでもあります。

また、そういう中で、その施設を造っていく中で、私のイメージとすればグラウンドゴルフ場ですので、管理等々そこにはトイレとかいろんなのがあって、辺り一面が芝生ということで、今いろんな構造物がたくさんあったり、また石を使った植栽、そういったもの等があって、なかなか管理が大変だなと思っております。

グラウンドゴルフ場ということになりますと辺り一面が芝生ということで、今の状況よりは相当管理については機械化、そういったことができるのではないかなと思っております。私は、広いキャンパスパークをグラウンドゴルフ場として使うということについては、有効ではないかなと思っております。

また、地域の方々との意見交換、そういったこともあると思いますが、まずは5年度にその調査・設計というものをつくって、こういうものができるんですよということは、やっぱり開示することが必要ではないかなと思っております。

そういう中で、地域の方々の御意見、そういったものを伺う。また、もう一つは、町の単独事業でやるということについてはなかなか経費的には大変かなと思っておりますので、そういった図面といいますか、そういった大きな図面、そういったものを持って、該当する補助事業、そういったものについてもしっかりと県またいろんな組織、そういったところに当たって行きながら、活用できる補助事業というものを5年度中には模索していければなというふうに考えております。

○4番（奥 好生議員）

よく分かりました。それで、もうちょっとお願いなんですけども。

皆さん、御承知だと思うんですけども、秋利神キャンパスパークの発電所の上のほうは三京側からの川と西阿木名側からの川が合流するところがあるんですけども、あそこに最初ミニ公園的なものも中に造ってあるんですね。だけど、それはほとんど活用されていなかったと思います。

もう1点は、フィリピン村の西側の海岸沿いから北側のほうに向けてのセメント舗装で釣りに行くような道もありましたけども、長年の台風被害関係で壊れておりまして、あそこら辺もできれば考慮して、計画に入れられるものでしたら入れていただきたいと思っております。

これは以上です。

続きまして、3項目め、各集落公民館の補修工事の計画についてでございます。

1点目、令和5年度の対象集落についてでありますけども、各集落にある老朽化した公民館の補修については、以前から区長はじめ、みんなが頭を悩ませてきたというのが実情だと思います。

ここに来て奄振事業を活用した整備事業を導入したことは、森田町長の手腕といえますか、あと職員の頑張りに感謝申し上げたいと思います。また、瀬滝集落の構造改善センターも令和5年度の対象となっているようでございます。改めて感謝申し上げます。

あとお願いしたいことは、やっぱり集落等の話合いというか、工事着手する前にある程度の打合せ、そういったのがほしいんですけども、そこら辺はどうでしょうか。

○企画財政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

今年から、4年度から奄振事業を活用して、公民館の防災上の改修工事を行っております。

今年につきましても、集落側とちゃんとどういったことをしたいかというのを、要望を聞くのはまたその事業の対象になるかというのも、そこで一緒になって検討しながら進めております。

先ほど、令和5年度に3地区ということでありましたが、先ほど私申し上げましたように、国の4年度事業で採択される見込みとなっております。ですので、3月議会になるかもしれませんが、その令和5年度にやろうとしていた3ヶ所については、4年度予算に計上していくということになるかと思っております。その際には、また集落側ともしっかり打合せをさせていただきたいと思っております。

○4番（奥 好生議員）

2点目の事業の内容についてというところもあるんですけども、今の答弁と同じなんですけども、集落要望書もたしか役場のほういただいていると思いますので、ぜひそういったところも勘案しながら、ぜひ集落の喜ぶような改修をしていただきたいと思っております。

続きまして、町営住宅建設について、建設課長にお尋ねしますけども、令和5年度以降の建設予定地については町長のほうから答弁いただきましたけども、私の考え方をちょっと申し上げますと、50年前と今では町内の現状というのは大きくさま変わりしていると思うんですね。町民の考え方も多種多様であります。子育て世帯や高齢者のニーズに合った場所に建設することが大切ではないかと思っております。

そこで、建設課長に再度お尋ねしますが、町営住宅への入居希望者の子育て世帯や高齢者の方々に、建設希望地のアンケート等は取ったことがあるのかちょっと伺います。

○建設課長（宮山 浩君）

お答えいたします。

今、議員のおっしゃられる子育て世帯、また高齢単身、高齢夫婦世帯に、全世帯にアンケートは取ったことはございません。

その中でも待機者といえますか、常時申込みをされている人数は把握をしております。高齢世帯は現在9世帯、また高齢夫婦世帯は1世帯、今待機をされております。子育て世帯と若者夫婦世帯、合わせて9世帯あります。

希望の地区ですが、北部が6世帯、中央5世帯、南部2世帯となっております。町全域にわたってこういうアンケートも、議員が言われるように長寿命化計画、策定しましたけども、議員が言われるように、そういうのも参考に本当はしなければいけないかなと考えております。

○4番（奥 好生議員）

ぜひ、やっぱり造ってここに、行政が一方的にここに、今までもここに住宅がいっぱいありましたらここに造りました、ここに入居してくださいというのではなくて、やっぱり住んでよかった、まちづくりのためにはやっぱり町民のニーズというのをやっぱり的確に把握をして、満足度ナンバーワンのまちづくりに向けて、やっぱりやる必要があるのではないかと思います。

もう一つ、町民の声からよく聞かれるんですけども、松西集落は町営住宅が何戸ぐらいありますか。

○建設課長（宮山 浩君）

お答えいたします。

松西集落は県道の西側のほうに1棟4戸、4世帯、今管理しております。

○4番（奥 好生議員）

ぜひそこらもバランスよく集落の要望とかを聞かれて、計画の修正というのはありきですので、そこら辺の見直しをすとか、町単独事業を使うとか、前向きな対策を取っていただきたいと思います。

○建設課長（宮山 浩君）

議員、今言われるように、10年の長寿命化計画は策定しておりますが、今、各集落から要望もあります。

特に、松西、松上辺りは集落の世帯数に比べて町営住宅の戸数が極端に少なくなっておりますので、その辺のバランス、また南部のほうで建設する際によく話まし

たが、土地の確保等の目安がつきましたら、またこの計画にローリング修正して取り組んでいきたいと考えております。

○4番（奥 好生議員）

ありがとうございます。

続きまして、5項目めの兼久小学校グラウンド西側の危険箇所改善対策の進捗状況についてでございますけども、これは建設課長でいいですかね。

当初の見込みと若干違っていると思いますけど、そこら辺ちょっと詳しく説明お願いします。

○建設課長（宮山 浩君）

お答えいたします。

今年度当初で予算を皆さんのほうに提案して認めていただいたんですが、昨年度、専門の吹きつけ業者と現場を見て予算化をしたんですが、伐採を入れてよく調べてみますと、吹きつける場所の南側と同じようなコンクリートの吹きつけを考えておったんですが、道路ののり面でもあり、道路構造物になるということで、少し道路構造物としてはただのコンクリート吹きつけでは弱いということで、今、そののり面の土質等も調べて、実際どういうふうな構造物が必要か今設計を入れているところです。

本年度の予算につきましては、その予算でできる延長で構造物を造っていきたいと思っております。また、それでできない部分については、また新年度以降、皆さんに提案させていただければと思っております。

○4番（奥 好生議員）

当初の計画よりもやっぱり強固な崖崩れ対策をしていただけるということでございます。

教職員をはじめ保護者の皆さんも安心していると思いますので、今後とも、学校現場の安全対策には万全な対応をお願いしたいと思います。

また、もう一点、建設課長には感謝申し上げたいと思いますけども、瀬滝集落の中ほどに道路が50m近く、半分ほどは段差ができて非常に危険なところがありましたけども、そこも早期に対応していただきまして、来年の2月ぐらいですか、完成は。ぜひこういった集落からの要望については、スピード感を持って対応していただきたいと思います。よろしくお願いします。

続きまして、教育行政基本計画の見直しについてでございますが、先ほど教育長のほうから答弁いただきましたが、ちょっと気になるところがございます。

教育大綱を基に、有識者の方々から意見を求めながら、天城町に即した教育行政基本計画の策定を進めてまいりますという答弁がございましたが、教育大綱の作成

はどういった形で作成されるのでしょうか。

○教委総務課長（豊島 靖広君）

お答えいたします。

教育行政基本計画の策定について、教育大綱を基に並行して計画を進める計画です。

大綱の策定は地方公共団体の長が教育基本法に規定する基本的な方針に基づき、地域の実情に応じて定めるとなっておりますので、町長部局と連携して、教育総合会議において協議を行い、大綱を定めてまいります。

それに基づき、並行しながら策定検討委員会なるものを立ち上げ、令和5年度4月には、並行しながら見直し案の作成、課内検討会で、7月には第1回の検討会、教育行政基本計画事務局案を示し意見を求め、次期開催に各委員からの意見を願います。そして、令和5年11月には第2回の検討委員会を開き、事務局より示した案について修正または意見を再度願います。そして、年明け、6年1月には素案を作成し、パブリックコメントによる意見を求め、令和6年2月には第3回検討委員会、そのときに素案、そしてパブリックコメントの意見等を再度検討委員会に諮り、次期教育行政基本計画を策定する予定としております。

○4番（奥 好生議員）

10年近くなりますかね、鹿児島大学の教育文化の振興の町の見直しをしていただいた経過があるんですけども、その結果報告書の中の前段のほうに、教育行政基本計画があまり整合性が取られていないということが書かれております。

だいぶ年数もたっているんですけども、さらに見直しの結果が出るのは令和6年の年度末2月、3月ぐらいということなんですけども、遅い感もありますけども、しっかりした内容を作成できるよう期待をしておりますので、よろしく願います。

続きまして、給食センターの建て替えについて、もう即答で願います。

完成予定の時期はいつ頃と捉えられているか、願います。

○教委総務課長（豊島 靖広君）

今の計画で令和7年度、8月、9月から運用開始と考えております。

○4番（奥 好生議員）

令和7年8月頃ということですね。これも遅れがないようにしっかりと頑張ってください。願います。

最後ですが、行政サービスの改善について、押印の見直しの取り組みについて、先ほど町長からの答弁の中で申請書、届け出書、報告書等、677件のうち59%が見直しをして押印の必要がない。残り41%が押印がまだ必要な書類だということ

とでございますけども、これはいわゆる国が進めている取り組みなんですけども、行政サービスの一環としてだと思っておりますが、あるいは内部行政手続、これを決定して今進めていると思っておりますけども、町民への周知、ホームページあるいは、あまぎ広報紙等で、ここら辺を周知を図った経過があるのかないかお伺いします。

○企画財政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

この押印の見直しにつきましては、私ども町のいろんな規則等に定める様式等における押印の義務、こういったものを見直していこうということでございました。ですので、住民の方にはちょっと周知はいたしておりません。その様式等で押印を省略していくということですので、各課において、その様式等をまた改善したりしていくということにしております。

○4番（奥 好生議員）

鹿児島県内のある自治体では1千670件のうち約98%の1千634件については押印を廃止しておりますと、これは行政サービスの向上にもつながることでありまして、内部的なことだけではなくて、こういうのがやっぱり住民サービスですので、住民に周知を図るのがやっぱり町民目線ではないかと思っておりますけども、そこら辺、町長のお考えはどうなんでしょうか。

○町長（森田 弘光君）

行政サービスの改善ということについては、町民とやっぱり情報を共有しながら進めていくということは大事かというふうに、まずは基本的には考えております。

そういう中で各課で対応をするわけでありまして、もし可能であれば、令和3年度中にこれだけのものを見直して、これだけのことができたという総括的なそういった報告、そういったものについては必要ではないかと思っておりますので、ホームページ、またいろんな手段を使って町民への周知をしていきたい。そうすることによって、また行政に対する信頼関係といいますか、行政の頑張り度みたいなのもまた町民の方々が分かるということは、またこれから行政を進めていく中で大事なことではないかというふうに思いますので、今、奥議員の御指摘、そういったものについては参考にしながら進めていければと思います。

○4番（奥 好生議員）

企画財政課長にちょっとお願いなんですけども、天城町に天城町事務改善委員会規程というのがございますが、この中に行政サービスという言葉がちょっとないようですので、そこら辺もまた検討して、行政サービスありきというのがやっぱり役場の業務の最大の仕事だと思うんです。

この押印廃止については、役場場内の内部手続と町民が直接関わる申請書、そう

いったものもあるわけですね。内部手続については別に公表とかする必要はないと思うんですけども、行政手続、いろんな入札関係、あるいは補助金申請とか、そういったものに押印を廃止されているのであれば、やっぱりこういうことを行政サービスの改善をしましたというふうに、やっぱり町民に周知を図るべきだと思います。

また、ある自治体ではもう全てをホームページ上で公表しているところもありますので、やっぱりそういったところはぜひ前向きに、やっぱり役場職員の仕事というのはやっぱり行政サービスが第一ですので、町民に知らせるといのは非常に大事なことだと思いますので、これからもそういった心がけで頑張っていたきたいと思います。

以上で、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（柏井 洋一議員）

以上で、奥好生君の一般質問を終わります。

以上で、本日の日程は全部終了しました。明日は午前10時から開会します。

本日はこれで散会します。お疲れさまでした。

散会 午後 2時38分